

平成28年度

e-お菓子ねっと 活動報告

「全国システム実務者研修会」

平成28年11月
e-お菓子ねっと

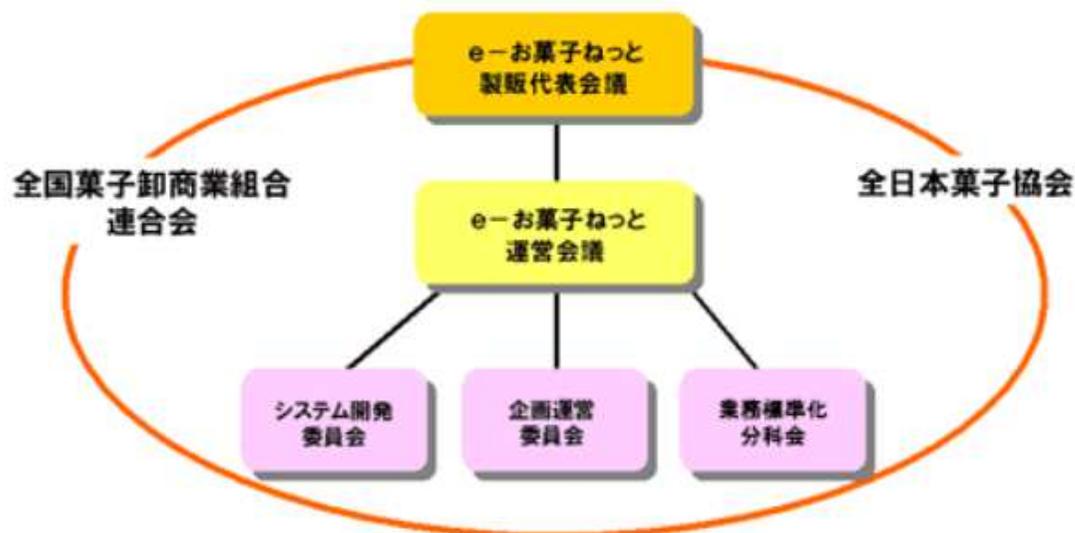


| | |
|-----------------------------|----|
| I. 活動状況報告 | 3 |
| II. V2フォーマットの普及にむけて | 5 |
| 1. e-お菓子ねっとシステム概要 | |
| 2. V2フォーマット導入状況 | |
| 3. V2普及に向けた機能強化(改善)のポイント | |
| 4. 日本語対応項目の相互変換機能強化 | |
| 5. 請求・支払データの相互変換機能強化 | |
| 6. 設計資料の整備 | |
| 7. 対応スケジュール | |
| III. 導入支援機能の活用 | 29 |
| 1. 導入支援機能の概要 | |
| 2. 導入支援機能の利用方法 | |
| 3. テスト用の取引先コードを利用したテストの概要 | |
| 4. テスト用の取引先コードを利用したテストの利用方法 | |
| IV. 障害通知機能 | 41 |
| 1. 障害通知メールの利用促進 | |
| 2. 障害通知メールのセキュリティ向上 | |
| V. 稼働状況報告 | 45 |
| 1. e-お菓子ねっと全体の稼働状況 | |
| 2. V2フォーマットの導入状況 | |

I. 活動状況報告

1. 活動状況報告

e-お菓子ねっとでは、専門分野を取り扱う委員会（企画運営委員会、システム開発委員会、業務標準化分科会）を設け、継続的にサービス向上の活動をしています。



<活動状況>

- ①製販代表者会議 (2回/年) : 活動方針や予算の決定、規約の改訂など
- ②運営会議 (7回/年) : 各分科会からの提案事項、運営課題を検討など
- ③システム開発委員会 (8回/年) : システム開発案件を検討など
- ④企画運営委員会 (7回/年) : 普及促進、会員様向けの研修会・説明会を企画・検討など
商品分類専門委員会議を4回開催し、分類基準表の維持管理 及び
普及促進の検討を行っています。
- ⑤業務標準化分科会 (4回/年) : 伝票レス・請求書レスの菓子業界における実施の可能性について検討

[注記]

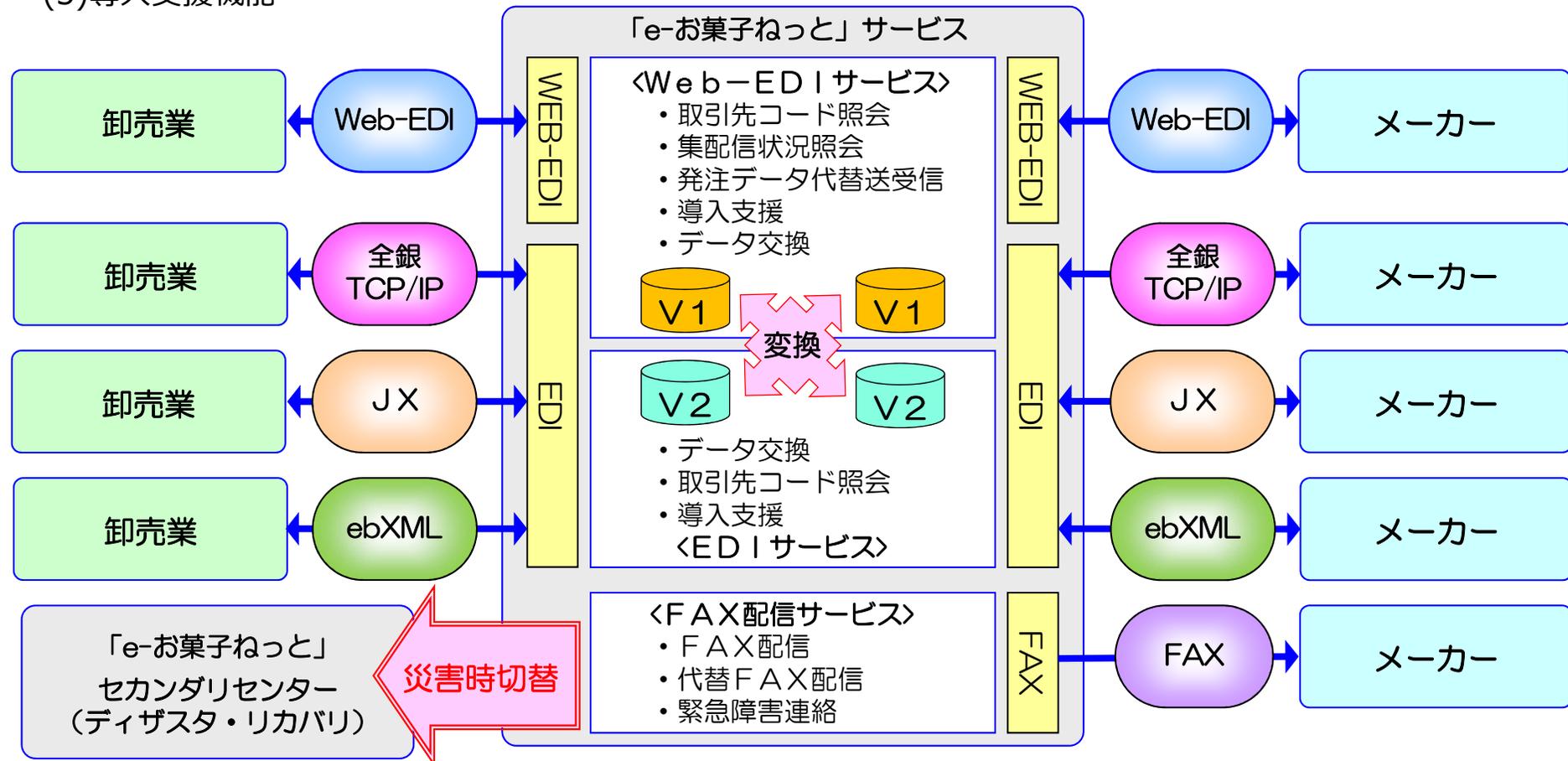
- ・開催回数は2015年度の実績です。(業務標準分科会のみ2016年度の実績です)
- ・活動状況は、e-お菓子ねっとのHPに掲載しています。(TOP>会員向け資料>活動報告)

Ⅱ. V2フォーマットの 普及に向けて

1. e-お菓子ねっとシステム概要
2. V2フォーマット導入状況
3. V2普及に向けた機能の強化ポイント
4. 日本語対応項目の相互変換機能強化
5. 請求・支払データの相互変換機能強化
6. 設計資料の整備
7. 対応スケジュール

1. e-お菓子ねっとシステム概要

- 「e-お菓子ねっと」は、菓子業界に於ける卸様とメーカー様の業務効率化を実現するためのデータ交換サービスです。
- 新システム稼動（2015.10）における主な機能改善点は、以下の通りでした。
 - (1) V2フォーマット追加（発注、在庫予定、受領、返品通知、出荷報告、請求明細、支払明細、販売報告）
 - (2) インターネットプロトコルの追加(JX、ebXML)
 - (3) ディザスタ・リカバリ機能（セカンダリセンタ環境）追加
 - (4) 新旧フォーマット相互変換機能
 - (5) 導入支援機能



2. V2フォーマット導入状況

■ 2016年10月末におけるV2フォーマットの導入状況は、以下の通りです。

《導入社数》

| | 社数 |
|------|----|
| 卸 | 1 |
| メーカー | 11 |

《データ種別 導入社数》

| | 発注 | 在庫予定 | 受領 | 返品通知 | 出荷報告 | 請求 | 支払 | 販売報告 |
|------|----|------|----|------|------|----|----|------|
| | 03 | 13 | 14 | 18 | 23 | 35 | 36 | 43 |
| 卸 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| メーカー | 11 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |

《通信方式別 データ種別 導入社数》

| | | 発注(03) | 在庫予定 | 受領 | 返品通知 | 出荷報告 | 請求 | 支払 | 販売報告 |
|------|-----|--------|------|----|------|------|----|----|------|
| | | 03 | 13 | 14 | 18 | 23 | 35 | 36 | 43 |
| 卸 | EDI | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | WEB | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| メーカー | EDI | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | WEB | 9 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

3. V2普及に向けた機能強化（改善）のポイント

◆2016年10月にリリースしたV2フォーマットについて
導入企業様から、ご要望をいただいたため、e-お菓子ねっと運営会議にて検討した結果、
以下の2点について、機能強化（改善）を実施することにしました。

(1)相互変換機能の強化（改善点）

①日本語対応項目の相互変換機能を強化

- ・V2フォーマットで日本語対応した「混在項目」に加え、「カナ項目」を追加することで、V1連携を強化します。
混在項目：日本語(全角)と英数字カナ(半角)の一方を設定する項目（一次店名、品名等）
カナ項目：英数字カナ(半角)を設定する項目

②請求データと支払データについて、V1とV2の相互変換機能を強化

(2)加入企業様がV2フォーマットを導入する際に利用する「設計用資料」の整備

①EDIフォーマット集、データ・ガイドライン

- ・V1 ⇄ V2の連携仕様、および、チェック仕様 等

②導入ガイドライン

- ・自社、接続先企業がV2を導入する際の留意事項 等

4. 日本語対応項目の相互変換機能の強化

4.1 システムの改善点

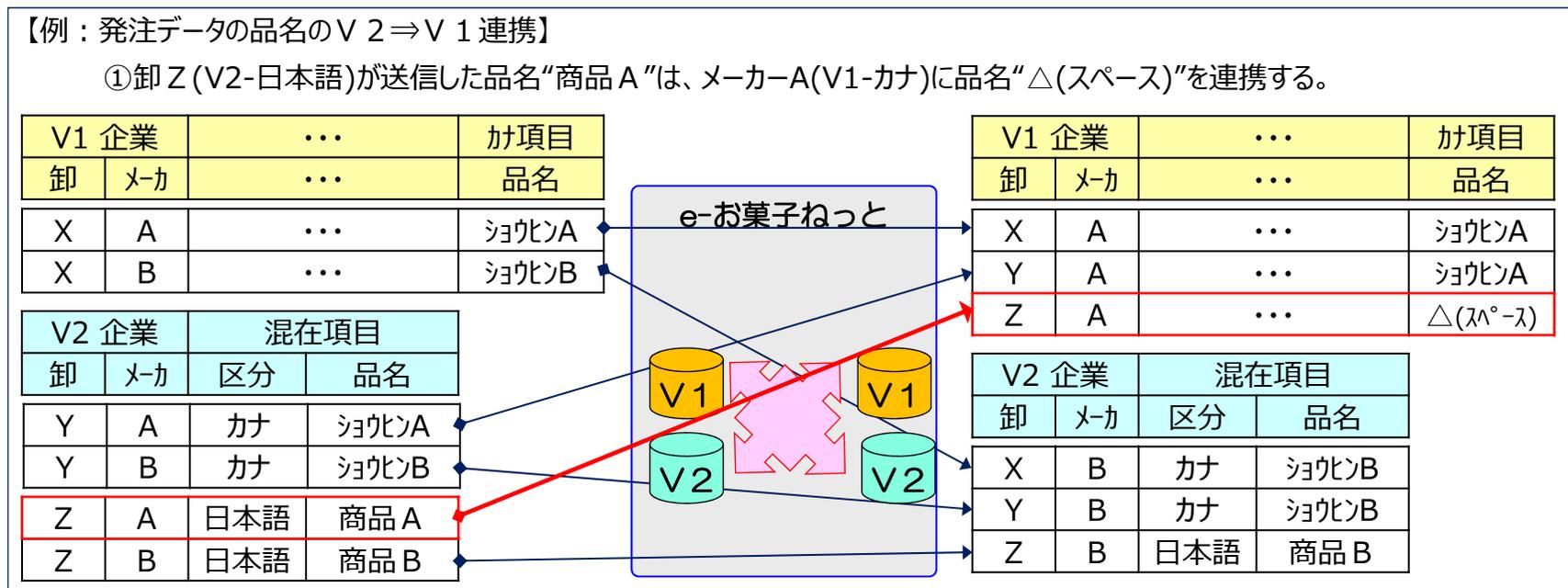
- (1) V2フォーマットに「カナ項目」を追加し、
V2⇒V1へのフォーマット変換において、「カナ項目」を連携します。
- ① EDIフォーマット： 予備欄に追加項目を設定。レコード長自体は変更ありません。
 - ② WEBフォーマット： CSVフォーマットの最後に追加項目を設定。項目数(カラム数)が増加します。

4.2 機能的な改善点

- (1) V2フォーマットの導入企業様は、送信先企業様の対応フォーマットを意識(システム管理)することなく、データ送信(V2対応)が可能になります。

4.3 現行仕様と改善要望

- (1) 現行仕様
- ① V2の混在項目に日本語(全角)を設定すると、V1の受信企業様には“△(スペース)”を連携します。
 - ② そのため、V2で混在項目に日本語(全角)を利用する場合、
「日本語(全角)対応が、相対する企業様間で問題がないことを確認して使用すること」としていました。

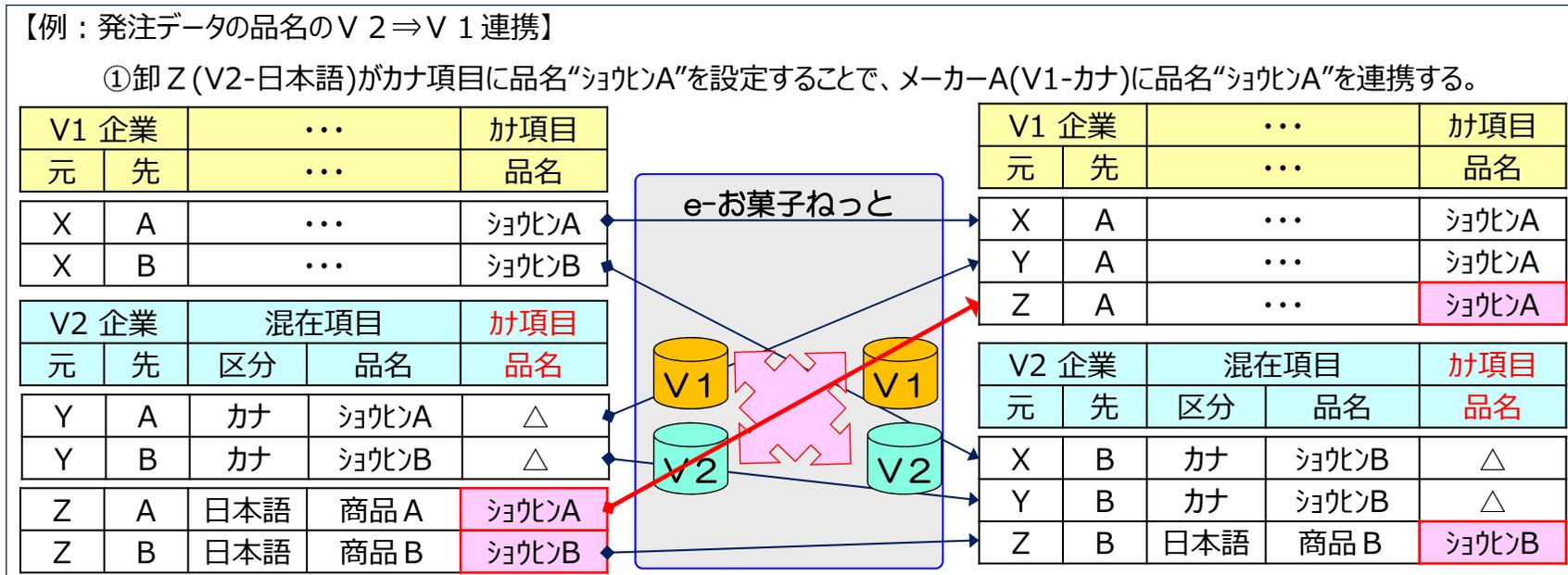


(2)改善要望

- ①導入検討中の企業様より、以下の要望を頂きました。
- ◆送信元(システム改修側)が送信先(システム継続側)の実装状況を考慮する必要がない様にして欲しい。
 - ・送信先の全企業に問題ないことを確認することが困難
 - ・送信元が「日本語項目」と「カナ項目」の両方をe-お菓子ねっとに送信する
 - ・e-お菓子ねっとでV1利用企業様には、カナ項目を連携する

(3)新仕様

- ①e-お菓子ねっとでは、「カナ項目」を追加することで、V1の送信先企業様にも項目連携するように改善しました。
- ②送信元企業様がV2へのシステム変更を実施する際に、日本語・カナの両項目を設定することで、送信元システムでは、送信先企業様のフォーマットを意識（管理、判定）する必要がなくなります。



◆対象データ種、対象項目は、以下の通りです。（正式版は、2016年11月中にホームページに掲載致します。）

| 項目名 | | 発注 | 在庫予定 | 受領 | 返品通知 | 出荷報告 | 請求 | 支払 | 販売報告 |
|---------|-------------|----|------|----|------|------|----|----|------|
| | | 03 | 13 | 14 | 18 | 23 | 35 | 36 | 43 |
| コントロール部 | 請求先名 | - | - | - | - | - | ◎ | - | - |
| | 請求元名 | - | - | - | - | - | ◎ | - | - |
| | 請求元事業所名 | - | - | - | - | - | × | - | - |
| | 支払元名 | - | - | - | - | - | - | ◎ | - |
| | 支払先名 | - | - | - | - | - | - | ◎ | - |
| | 支払先事業所名 | - | - | - | - | - | - | × | - |
| ヘッダ部 | 一次店名 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 二次店名 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 三次店名 | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 届け先名 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | チェーン店名 | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 住所 | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 下請法) 伝票表示内容 | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 伝票) 摘要 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 明細部 | 商品名 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| | 明細) 摘要 | × | × | × | × | × | × | × | × |

◎：V 2にカナ項目を追加します。⇒V 1のカナ項目と連携します

○：V 2にカナ項目を追加します。⇒V 1には当該項目がありません(システム全体の統一性)

×

-：V 2に当該項目がありません

※請求・支払データは、上記以外のフォーマット改版を実施しています。

4.4 V2フォーマットで日本語(全角)を導入済み。または、開発中の企業様へのお願い

★具体的な対応方法につきましては、e-お菓子ねっとから別途、ご連絡させていただきます。

4.4.1 E D I 方式

- (1)送信データ種 : ①レコード長は同じ(予備欄に追加項目を割当て)ため、通信には影響ありません。
 ②追加した「カナ項目」に“英数字カナ(半角)”の設定してください。
※ e-お菓子ねっとによる必須チェックは実施ませんが、運用(フォーマット集)上は必須とします。
- (2)受信データ種 : ①レコード長は同じ(変更なし)ため、通信には影響ありません。
 ②追加した「カナ項目」に“英数字カナ(半角)”が設定される場合があります。
 必要に応じて、ご利用ください。

4.4.2 W E B 方式

- (1)送信データ種 : ① C S Vファイルの項目数(カラム数)が増加するため、アップロードエラーとなり、e-お菓子ねっとに送信できなくなります。
・ e-お菓子ねっとのシステム更新日に合わせて、フォーマット対応をお願い致します。
 ・切替日までに作成済みのデータのアップロードまで完了してください。
 ②追加した「カナ項目」に“英数字カナ(半角)”の設定してください。
※ e-お菓子ねっとによる必須チェックは実施ませんが、運用(フォーマット集)上は必須とします。
- (2)受信データ種 : ① C S Vファイルの項目数(カラム数)が増加するため、ダウンロード時はエラーにはなりませんが、自社システムで取込みエラーとなります。
・ e-お菓子ねっとのシステム更新日に合わせて、フォーマット対応をお願い致します。
 ・切替前日にe-お菓子ねっとからデータ受信と自社システムへの取込みまで完了して下さい。
 ②追加した「カナ項目」に“英数字カナ(半角)”が設定される場合があります。
 必要に応じて、ご利用ください。

<現 状> “xx”, “一次店A”, “二次店B”, …… “zz”



<改善後> “xx”, “一次店A”, “二次店B”, …… “zz”, “イジテンA”, “コジテンB”, …

4.5 V2フォーマットの新規導入時の留意事項

(1)送信データの編集方法（項目単位）

- ①自社システムで日本語対応を未実施の場合
⇒ 混在項目には、“英数字カナ(半角)”を設定してください。
- ②自社システムで日本語対応を実施済の場合
⇒ 混在項目には、“日本語(全角)”、カナ項目には、“英数字カナ(半角)”を設定してください。

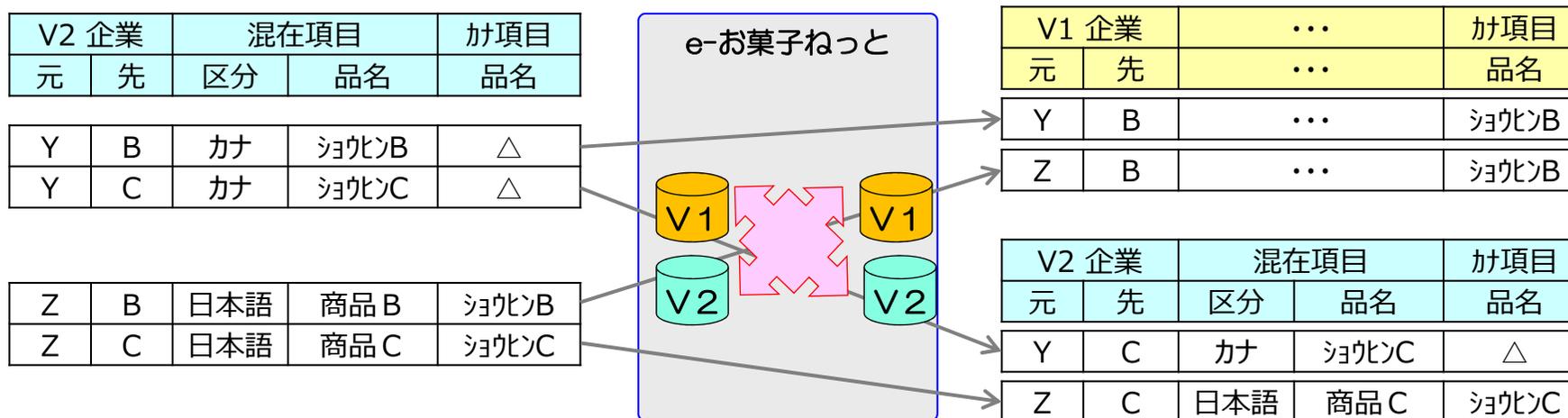
【例：発注データ(03)の連携（変換）】

(1) Y社(カナ) が送信した発注データは、

- ① B社【V1】の品名(カナ)に“ｼヨㇵﾝB”が連携されます。
- ② C社【V2】の品名(混在)に“ｼヨㇵﾝC”、品名(カナ)に“△(スペース)”が連携されます。

(2) Z社(日本語)が送信した発注データは、

- ① B社【V1】の品名(カナ)に“ｼヨㇵﾝC”が連携されます。
- ② C社【V2】の品名(混在)に“商品C”、品名(カナ)に“ｼヨㇵﾝC”が連携されます。



(2) 受信データの取込方法 (項目単位)

① 自社システムで日本語対応を実施済の場合

⇒ 混在項目を読み込んでください。(推奨)

・「日本語区分」により、格納内容が日本語(全角)か英数字カナ(半角)か判定してください。

② 自社システムで日本語対応を未実施の場合

⇒ 混在項目に日本語が設定されている場合、カナ項目を取り込んでください。

※ 送信元がデータ設定しない場合があります

【例：出荷報告データ(23)の連携 (変換)】

(1) A社(V1-カナ) が送信した出荷報告データは、

① X社【V2】の品名(混在)に“ｼﾞｮｳﾝA”、品名(カナ)に“△(スペース)”が連携されます。

② Y社【V2】の品名(混在)に“ｼﾞｮｳﾝA”、品名(カナ)に“△(スペース)”が連携されます。

(2) B社(V2-カナ) が送信した出荷報告データは、

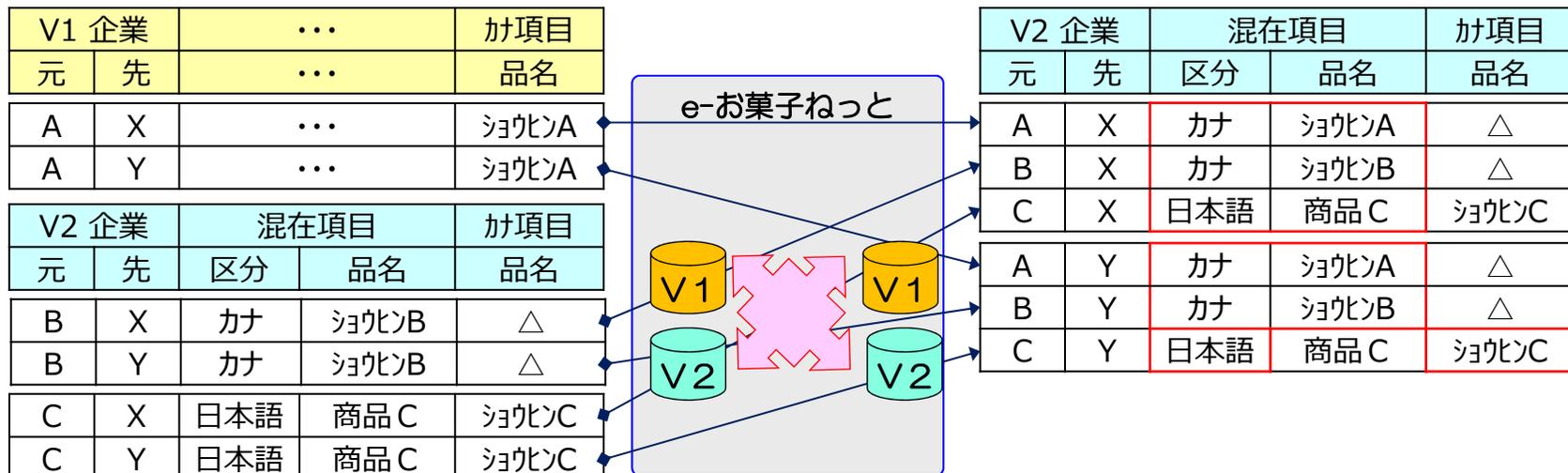
① X社【V2】の品名(混在)に“ｼﾞｮｳﾝB”、品名(カナ)に“△(スペース)”が連携されます。

② Y社【V2】の品名(混在)に“ｼﾞｮｳﾝB”、品名(カナ)に“△(スペース)”が連携されます。

(3) C社(V2-日本語)が送信した出荷報告データは、

① X社【V2】の品名(混在)に“商品C”、品名(カナ)に“ｼﾞｮｳﾝC”が連携されます。

② Y社【V2】の品名(混在)に“商品C”、品名(カナ)に“ｼﾞｮｳﾝC”が連携されます。



(3)データ種をまたいだデータ連携

①V1・V2 フォーマットのデータ連携における留意事項

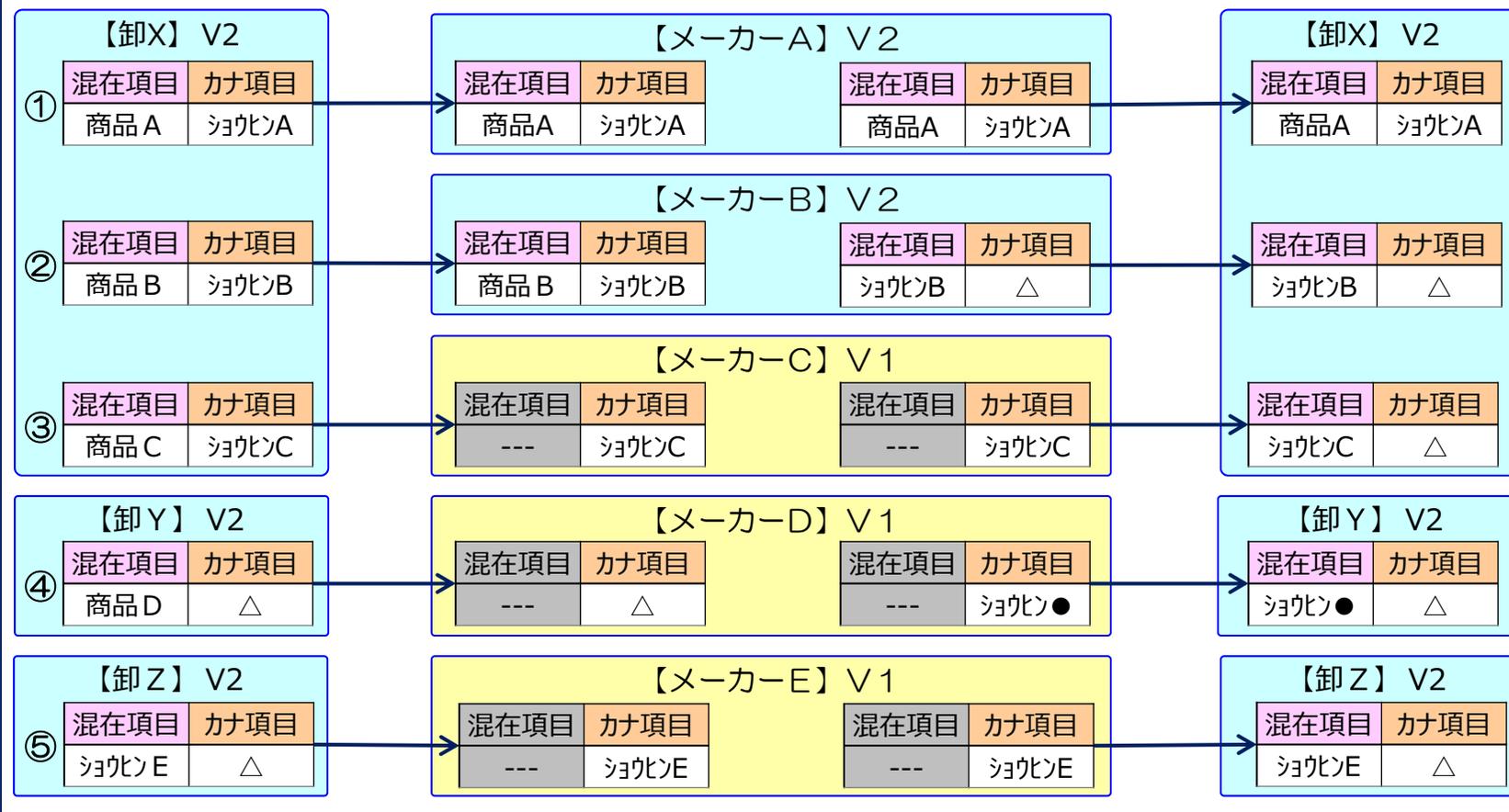
・V2フォーマットの導入する際には、以下の様にデータが連携される事をご考慮して下さい。

《例：発注データ⇒出荷報告データ》

②送信先がV2でも日本語対応していない場合は、出荷報告データに英数字カナ(半角)が設定されます。

③送信先がV1の場合、出荷報告データに英数字カナ(半角)が設定されます。

④送信時にカナ項目を設定しない場合、出荷報告データには、メーカーが管理する品名(半角)が設定されます。



(4)「伝票-摘要」項目の設定

①「伝票-摘要」項目の運用

- ・当該項目のデータ設定欄は、混在項目、カナ項目として定義しています。
- ・当該項目の運用は、相対企業様間における業務的な共有情報（分割納品等）を任意の文字列として設定する項目であり、事前にマスタ等で日本語(全角)と英数字カナ(半角)を準備することが困難な項目です。

②「伝票-摘要」項目の設定ルール

- ・「混在項目」か「カナ項目」の一方には、必ず 英数字カナ(半角) を設定してください。

5. 請求・支払データの相互変換機能強化

5.1 システムの改善点

- (1)請求データのV 1 (33)とV 2 (35)の相互変換機能を追加します。
- (2)支払データのV 1 (34)とV 2 (36)の相互変換機能を追加します。

5.2 機能的な改善点

- (1)V 2フォーマット導入企業様は、1ファイル(35又は36)の通信でデータ交換が完結します。

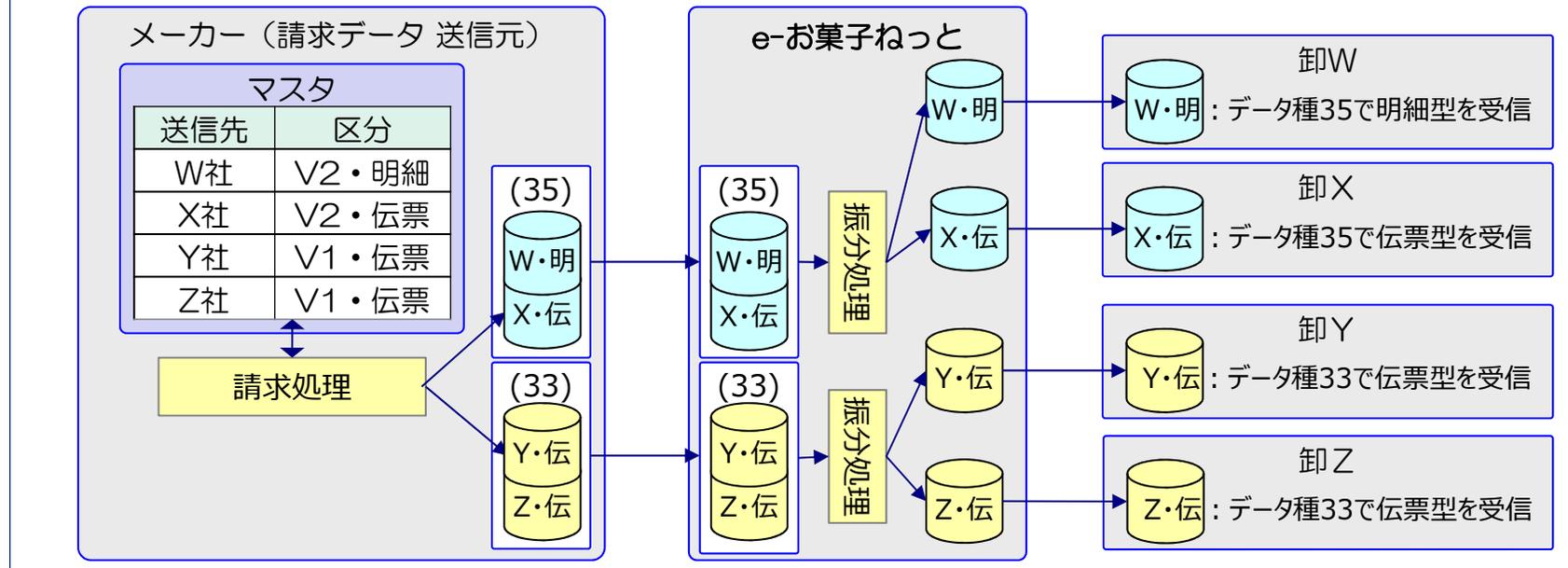
5.3 現行仕様と改善要望

(1)現行仕様

- ①請求データの場合、V 1 (33)とV 2 (35)に相互変換機能を実装しなかったため、V 2 導入企業は、V 1 利用企業様向けにV 1 用のデータ種33に対してもデータ送信の必要がありました。（※支払データも同様）

【例：請求データの送信】

- ①メーカーがV 2を導入した場合も、送信先の卸がV 2に未対応（Y社・Z社）の場合、Y社、Z社には、V 1フォーマット&データ種33にデータ送信する必要がありました。



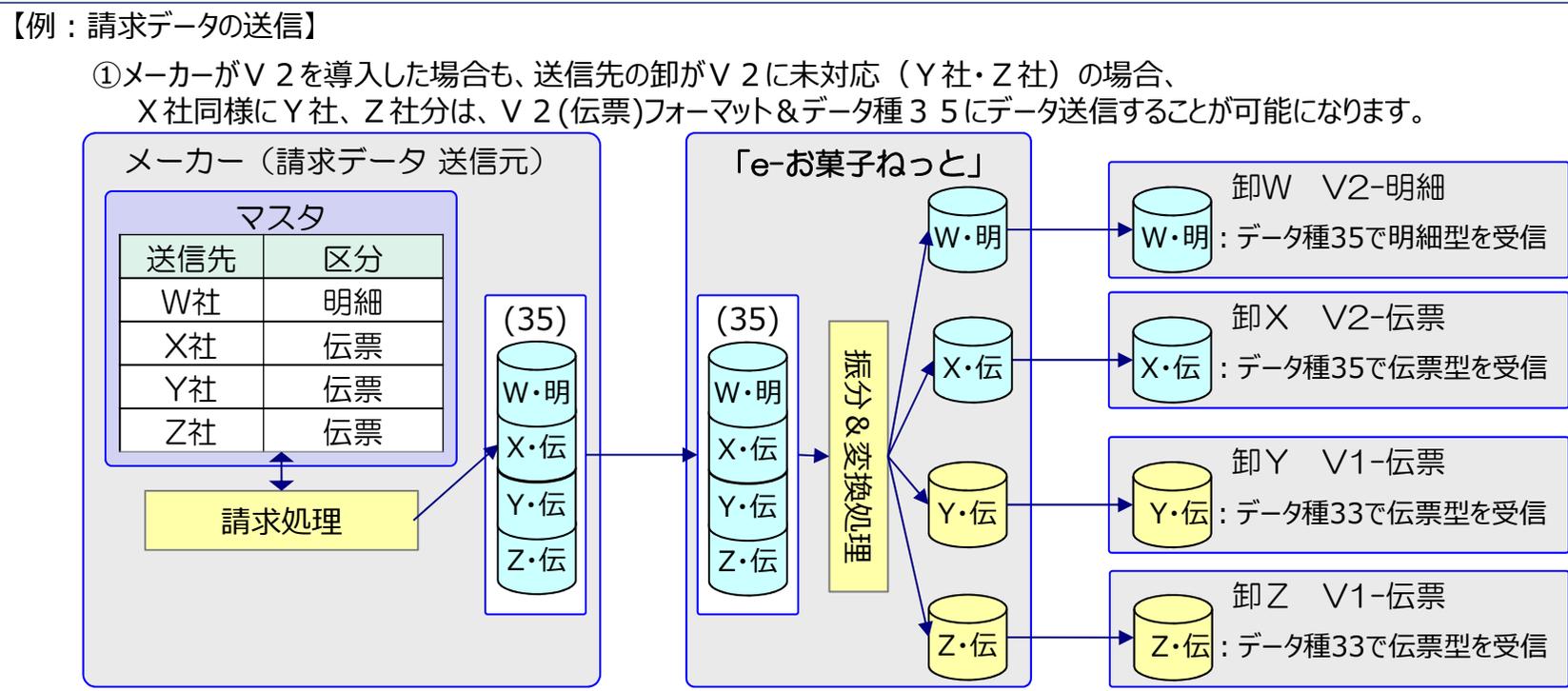
(2)改善要望

①導入検討中の企業様より、以下の要望を頂きました。

◆ e-お菓子ねっととの通信は、データ種ごとに1ファイルで完結する様にしたい。

<請求データの場合>

- ・請求データの送受信は、データ種 “33” か “35” の一方とだけ通信する。
- ・送信元メーカーがV 2 導入する場合は、データ種35に対し、「明細型」と「伝票型」データの両方を送信する。
- ・e-お菓子ねっとでV 1 利用企業様には、フォーマット変換のうえ、データ種33で連携（配信）する。



★ V 1 の請求データ(33)、支払データ(34)のデータ構成は、伝票合計レコードで構成しており、伝票明細は設定できません。
V 2 の請求データ(35)、支払データ(36)のデータ構成は、伝票合計レコードで構成する方法と伝票明細で構成する方法の2方式が可能となっています。

・明細型と伝票型の判定方法は、「集計明細区分」で実施します。

- “△”：明細型
- “1”：伝票型（フォーマット集では、“集計”と記載していますが、本資料では“伝票”と記載しています）

(3)新仕様

◆相互変換仕様は、以下の通りとします

- ① V 1 (伝票)を送信 : ・V 1 (伝票)に連携
・V 2 (伝票)に連携
- ② V 2 (伝票)を送信 : ・V 1 (伝票)に連携
・V 2 (伝票)に連携
- ③ V 2 (明細)を送信 : ・V 1 (伝票)に連携しません。送信元にチェックエラーを返信し、データを破棄します。
・V 2 (明細)に連携

| No. | 送信元 | 送信先 | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| | フォーマット | V1 (伝票) | V2 (伝票) | V2 (明細) |
| ① | V1 (伝票) | ○ | ○ | — |
| ② | V2 (伝票) | ○ | ○ | — |
| ③ | V2 (明細) | チェックエラー | — | ○ |

◆相互変換の実装にともないフォーマット全般を改版しています。(詳細は、「フォーマット集」を参照してください)

◆e-お菓子ねっと全体の相互変換仕様は以下の通りになります。

| V 1フォーマット | | 相互変換 | V 2フォーマット | | 備 考 | 導入支援 | テストコード |
|-----------|-----|------|-----------|---------|------------------------------|------|--------|
| 発 注 | 0 2 | ⇔ | 0 3 | 発 注 | | ○ | |
| 在庫予定 | 1 1 | ⇔ | 1 3 | 在庫予定 | | | ○ |
| 受 領 | 1 2 | ⇔ | 1 4 | 受 領 | | | ○ |
| 返品通知 | 1 9 | ⇔ | 1 8 | 返品通知 | | | ○ |
| 直 送 | 2 2 | ⇔ | 2 3 | 出荷報告 | | ○ | |
| 請求 (伝票) | 3 3 | ⇔ | 3 5 | 請求 (伝票) | V2-明細型からV1には、 変換不可(振分エラー) | | ○ |
| | | — | 3 5 | 請求 (明細) | | | |
| 支払 (伝票) | 3 4 | ⇔ | 3 6 | 支払 (伝票) | V2-明細型からV1には、 変換不可(振分エラー) | | ○ |
| | | — | 3 6 | 支払 (明細) | | | |
| 店出し | 4 2 | ⇔ | 4 3 | 販売報告 | | ○ | |
| 販促金案内支払 | 5 1 | | | | | | |
| 販促金請求 | 5 2 | | | | | | |

5.4 V2フォーマットを導入済み。または、開発中の企業様へのお願い

★具体的な対応方法につきましては、e-お菓子ねっとから別途、ご連絡させていただきます。

5.4.1 EDI方式

- (1)送信データ種 : ①レコード長は同じ（変更なし）ため、通信には影響ありませんが、フォーマットを見直しており、e-お菓子ねっとでチェックエラーとなります。
- ・e-お菓子ねっとのシステム更新日に合わせて、フォーマット対応をお願い致します。
 - ・切替日までに作成済みのデータは送信まで完了してください。
- (2)受信データ種 : ①レコード長は同じ（変更なし）ため、通信には影響ありませんが、フォーマットを見直しており、自社システムで取込みエラーとなります。
- ・e-お菓子ねっとのシステム更新日に合わせて、フォーマット対応をお願い致します。
 - ・切替前日にe-お菓子ねっとからデータ受信と自社システムへの取込まで完了して下さい。

5.4.2 WEB方式

- (1)送信データ種 : ①CSVファイルの項目数（カラム数）が増加するため、アップロードエラーとなり、e-お菓子ねっとに送信できなくなります。
- ・e-お菓子ねっとのシステム更新日に合わせて、フォーマット対応をお願い致します。
 - ・切替日までに作成済みのデータをアップロードまで完了してください。
- (2)受信データ種 : ①CSVファイルの項目数（カラム数）が増加するため、ダウンロード時はエラーにはなりませんが、自社システムで取込みエラーとなります。
- ・e-お菓子ねっとのシステム更新日に合わせて、フォーマット対応をお願い致します。
 - ・切替前日にe-お菓子ねっとからデータ受信と自社システムへの取込まで完了して下さい。

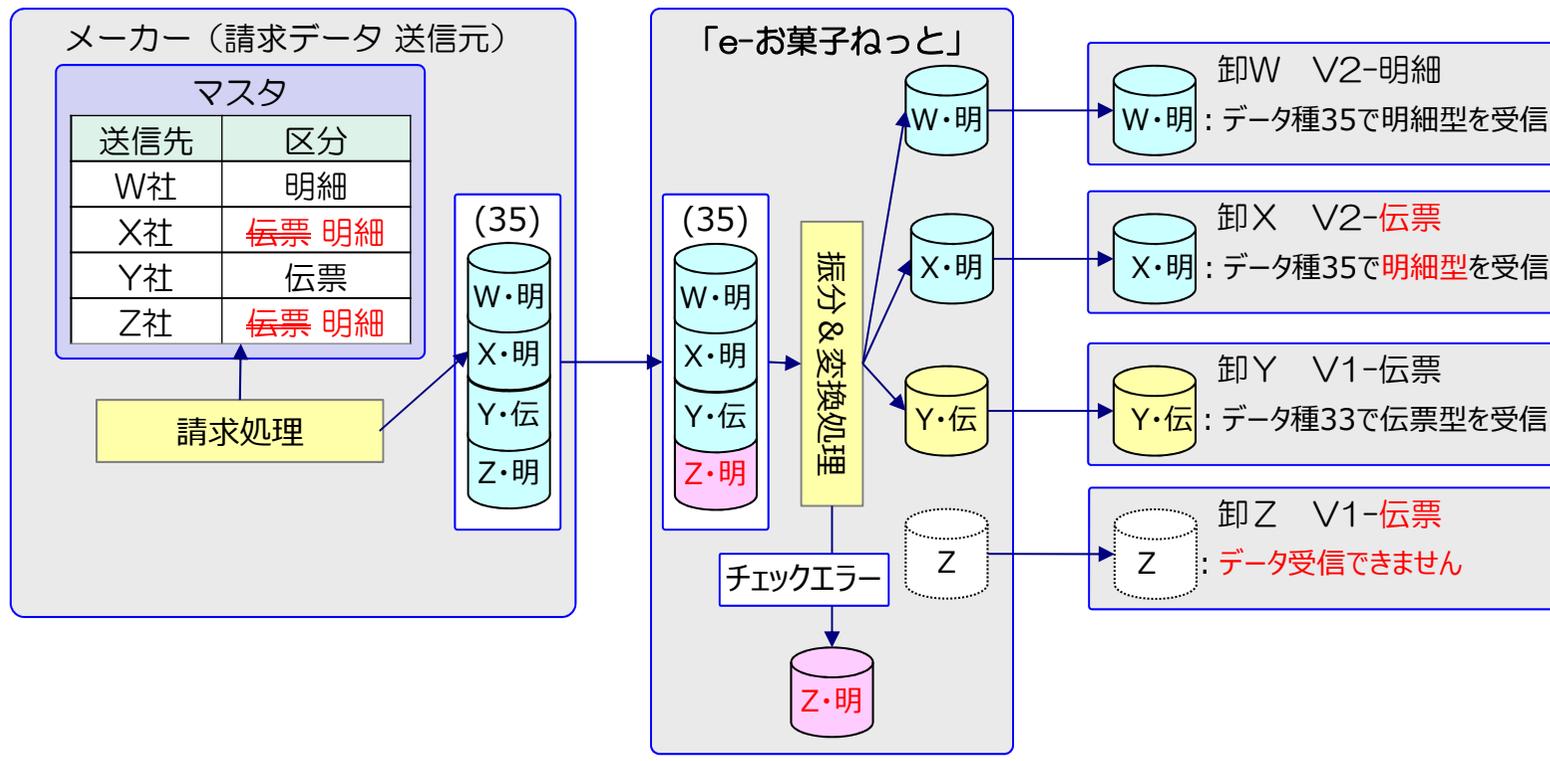
5.5 V2フォーマットの新規導入時の留意事項

(1)送信元企業様は、送信先企業様が「伝票型」か「明細型」を管理してください。

- ①明細型を送信すると、送信先がV2の伝票型にのみ対応している場合でも、明細型でデータ連携します。
- ②明細型を送信すると、送信先がV1の場合、e-お菓子ねっとでチェックエラーとなり、送信先にデータ連携しません。

【例：請求データの送信】

- ①メーカーがX社(V2-伝票)に明細型のデータを送信した場合、X社では明細型の請求データを受信します。
- ②メーカーがZ社(V1-伝票)に明細型のデータを送信した場合、e-お菓子ねっとでチェックエラーとなります。
 - ・送信元メーカーには、集配信状況照会エラーが通知されます。
 - ・送信先卸には、データを連携しません。

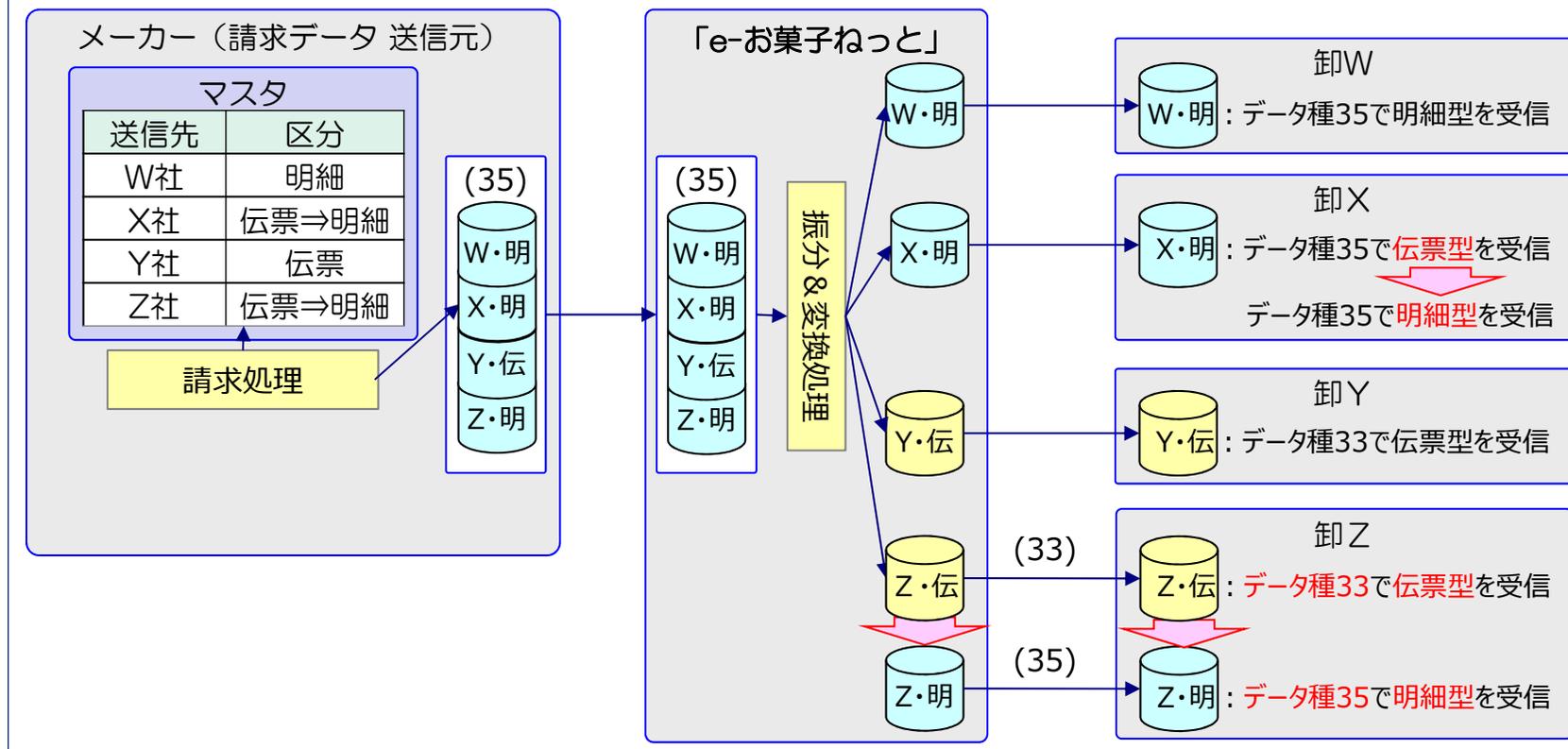


(2) 接続先様よりV2フォーマット(明細型)の利用可能の連絡があった場合

① 相対企業間で切替えタイミングを調整のうえ、明細型へ切替えてください。

【例：請求データの送信において、送信先卸がV2の明細型に対応する】

- ① 卸X社と切替え日程を調整のうえ、フォーマットを「伝票型」から「明細型」に切替えます。
 - ・通信は、データ種35を利用しているので変更不要です。
 - ・送受信フォーマットを「明細型」に切替えます。
- ② 卸Z社と切替え日程を調整のうえ、フォーマットを「伝票型」から「明細型」に切替えます。
 - ・メーカーの通信は、データ種35を利用しているので変更不要です。
 - ・卸Z社は、データ種33から35への通信定義変更が必要になります。
 - ・送受信フォーマットを「明細型」に切替えます。

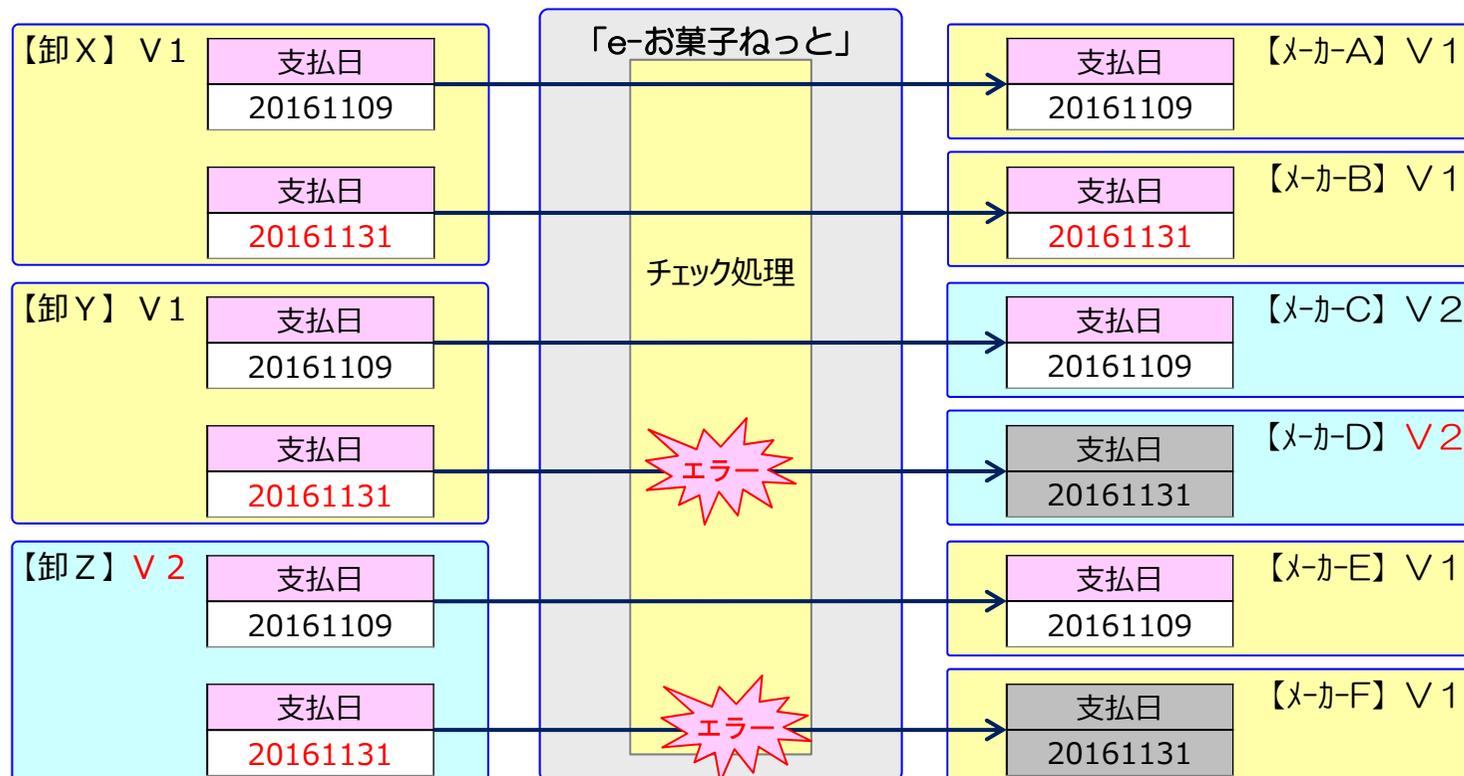


(3)データ妥当性の点検・修正

- ①e-お菓子ねっとでは、請求(支払)データがV 2フォーマットと連携する場合、V 1フォーマットのデータについてもデータ内容の妥当性をチェックします。(他データ種と同様)そのため、自社または、接続先企業のV 2 導入時にチェックエラーにならない様に現行システムをご確認ください。
- ・確認方法：「EDI 標準フォーマット」の各項目のチェック仕様と突き合わせてください。
 - ・対応方法：V 2 導入時にエラーになる場合には、事前に送信元企業様にてシステム対応をお願い致します。

《例：支払データの「支払日」の点検》

- ①卸X ⇔ メーカー A、Bは、全てV 1フォーマットなので、支払日に存在しない日付が設定されていても連携されます。
- ②卸Y ⇔ メーカー C、Dは、V 2を利用しているメーカーD社分データがe-お菓子ねっとでチェックエラーになります。
- ③卸Z ⇔ メーカー E、Fは、V 2を自社が利用しているので、メーカーF社分データがe-お菓子ねっとでチェックエラーになります。



6. 設計資料の整備

- ◆ e-お菓子ねっとでは、加入企業様における「V 1 からV 2 への移行」や「V 2 の新規導入」時の設計や業務対応にご利用いただく資料を整備致します。

(1)レコード・フォーマット資料

- ①フォーマット資料を「EDI標準フォーマット」と「Web2008フォーマット」の2分冊構成へ変更します。
 - ・レコード構成
 - ・e-お菓子ねっとのチェック仕様
 - ・V1⇔V2の連携仕様や項目ごとのマッピング情報
- ②データ・ガイドライン資料を最新化
 - ・V1フォーマットについて記載

(2)ガイドライン資料

- ①V 2 フォーマットの導入(切替え)や、システム設計時の留意事項

6.1 レコード・フォーマット資料

(1)新フォーマットでは、以下の様に記載します。(下図および、添付資料をご参照ください)

★最新資料は、2016年11月中旬にe-お菓子ねっとHPに掲載予定です。

- ①V2→V1・V2 センタチェック : e-お菓子ねっとセンタのチェック仕様を記載
- ②V2←V2コンバート : V2どうしの連携仕様を記載
- ③V2←V1コンバート : V1からV2の連携仕様を記載
- ④V1フォーマット : V1の連携項目を記載

※ V2 フォーマット (03:発注/EDI/コントロールレコード) の資料イメージ

| 変更 | 項番 | 項目 | 開始位置 | コード | V2 → V1・V2 センタチェック | V2 ← V2 コンバート | V2 ← V1 コンバート | V1フォーマット | | | | | | | |
|----|----|----------|------|-----|-----------------------|------------------|------------------|----------|-----|----------|----|----|-----|----|--|
| | | | | | | | | 比較・変更点 | 項番 | 項目 | 開始 | 属性 | 整数 | 小数 | |
| | 1 | データ種別 | 1 | | コード | ○ | "03"固定 | ○ | コード | | | | | | |
| | 2 | 送信先コード | 3 | | センタ登録 | ○ | ○ | | 2 | 送信先コード | 3 | 9 | 8 | | |
| | 3 | 送信元コード | 11 | | センタ登録 | ○ | ○ | | 3 | 送信元コード | 11 | 9 | 8 | | |
| | 4 | レコード区分 | 19 | | コード | ○ | ○ | | 4 | レコード区分 | 19 | 9 | 1 | | |
| | 5 | データ作成日 | 20 | | 必須+日付 | ○ | ○ | | 5 | データ作成日 | 20 | 9 | 8 | | |
| | 6 | データ作成時刻 | 28 | | 時刻 | ○ | 属性初期値 | ◎ | | | | | | | |
| | 7 | 送信先名 | 34 | | | ○ | ○ | | 6 | 送信先名 | 28 | X | 20 | | |
| | 8 | 送信元名 | 54 | | 必須 | ○ | ○ | | 7 | 送信元名 | 48 | X | 20 | | |
| | 9 | 直接送信先コード | 74 | | センタ登録 | ○ | ○ | | 8 | 直接送信先コード | 68 | 9 | 8 | | |
| | 10 | 直接送信先名 | 82 | | | ○ | ○ | | 9 | 直接送信先カナ名 | 76 | X | 20 | | |
| | 11 | 送信ファイルNO | 102 | | 属性 | ○ | 属性初期値 | ◎ | | | | | | | |
| | 12 | 予備 | 104 | | | ○ | 属性初期値 | | | | | | | | |
| | 13 | 連携エリア | 1181 | | | ○ | ○ | ◎ | 10 | 予備 | 96 | X | 161 | | |

7. 対応スケジュール

◆e-お菓子ねっとでは2017年2月1日に、新V2フォーマット対応のシステムをリリース致します。（予定）

| | | 2016年 | | | 2017年 | |
|-----------|---------------|---------------------|-----|-----|-------|--------|
| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| イベント | | ・フォーマット資料の公開(11月中旬) | | | | |
| e-お菓子ねっと | システム改修 | システム改修(※1) | | | | 🚩 リリース |
| | V2新規申込 受付見合わせ | V2申込 受付見合わせ(※2) | | | | |
| V2導入済の企業様 | システム改修 | 変更対応(※3) | | | | 🚩 切替 |

※1：仕様書（EDI標準フォーマット／Web2008フォーマット等）の正式配布については、2016年11月中旬に、e-お菓子ねっとのHP (<http://www.eokashi.net>)でご案内致します。（予定）

※2：V2フォーマットの新規申込を一時的に制限させていただきます。
2017年2月のシステムリリースまでは、受付できませんのでご了承ください。
受付再開は、別途e-お菓子ねっとのHPでご案内致します。

※3：V2導入済の企業様におかれましては、e-お菓子ねっとの新V2フォーマット対応のシステム稼動に合わせて、貴社システムの入替えをお願い致します。（前述）

Ⅲ. 導入支援機能の活用

1. 導入支援機能の概要
2. 導入支援機能の利用方法
3. テスト用の取引先コードを利用したテストの概要
4. テスト用の取引先コードを利用したテストの利用方法

1. 導入支援機能の概要

◆e-お菓子ねっとでは、V 2フォーマット導入の動作確認機能として、「導入支援」機能をご提供しています。

①当該機能は、V 2フォーマット導入前に送信元⇔送信先間で事前検証することで、V 2フォーマット導入後のトラブル※を未然に防止し、スムーズな切替を支援する機能です。

※導入後に想定されるトラブル

- ・V 2フォーマットで送信 → データチェックエラー → データ未達！
- ・V 2フォーマットで受信 → 自社システム取込エラー！ 等

②V 2フォーマット導入の際には、必ず、相対企業様間での動作確認をお願い致します。

1.1 対象データ種 : 以下の3データ種が対象です。

- ・発注(03)
- ・出荷報告(23)
- ・販売報告(43)

1.2 導入支援機能でできること

(1)送信データに対し出来ること

- ①自社で作成したV 2フォーマットデータがe-お菓子ねっとで正しく取り込まれること（エラーにならないこと）
- ②上記①でe-お菓子ねっとが取り込んだデータのV 1フォーマット変換データを検証（ダウンロード）すること

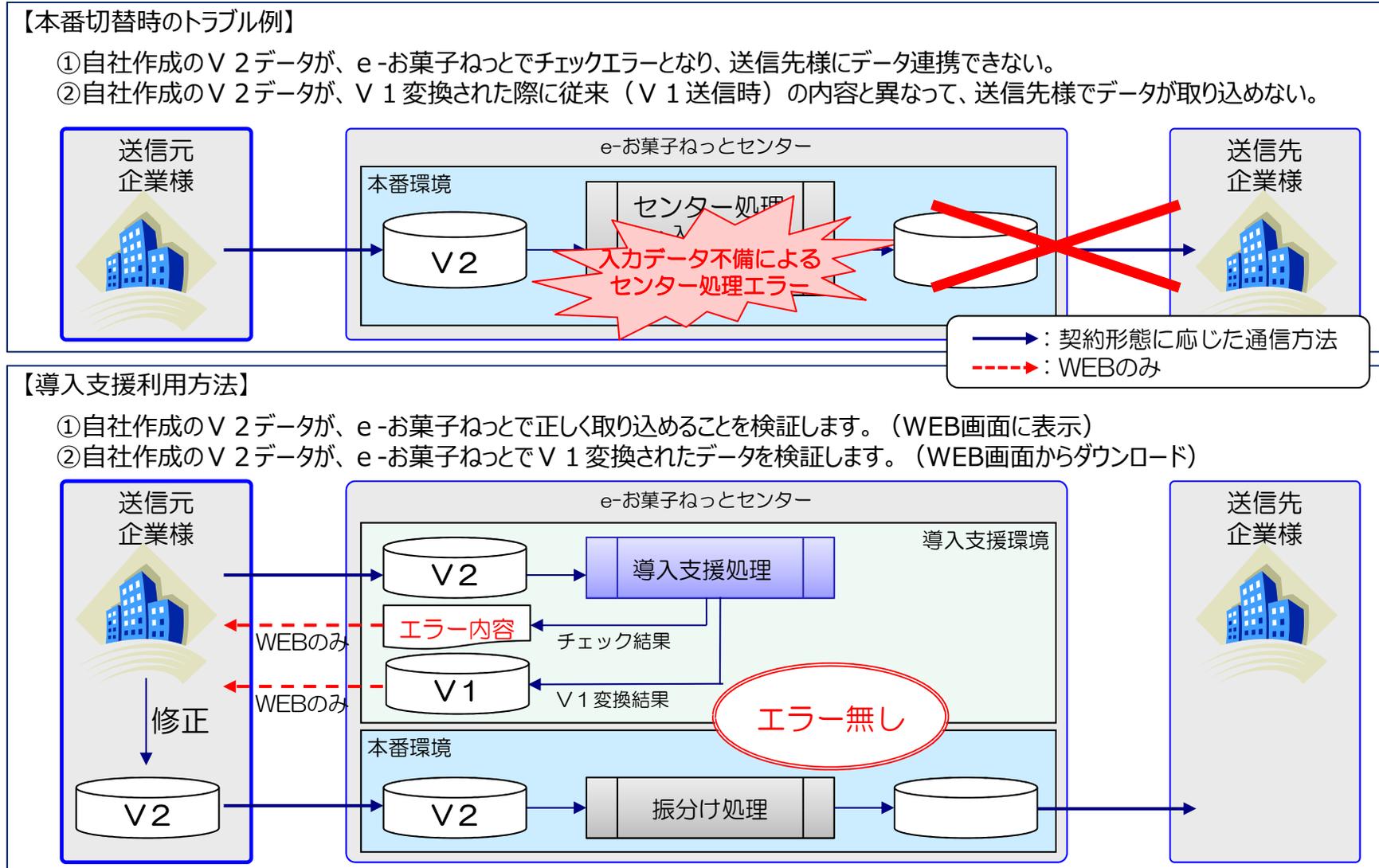
(2)受信データに対し出来ること

- ①自社がV 2にすることで、受信するV 2フォーマットデータが自社システムで正しく処理されること
- ②自社がV 2にすることで、従来の送信元からのデータがe-お菓子ねっとでエラーにならないこと

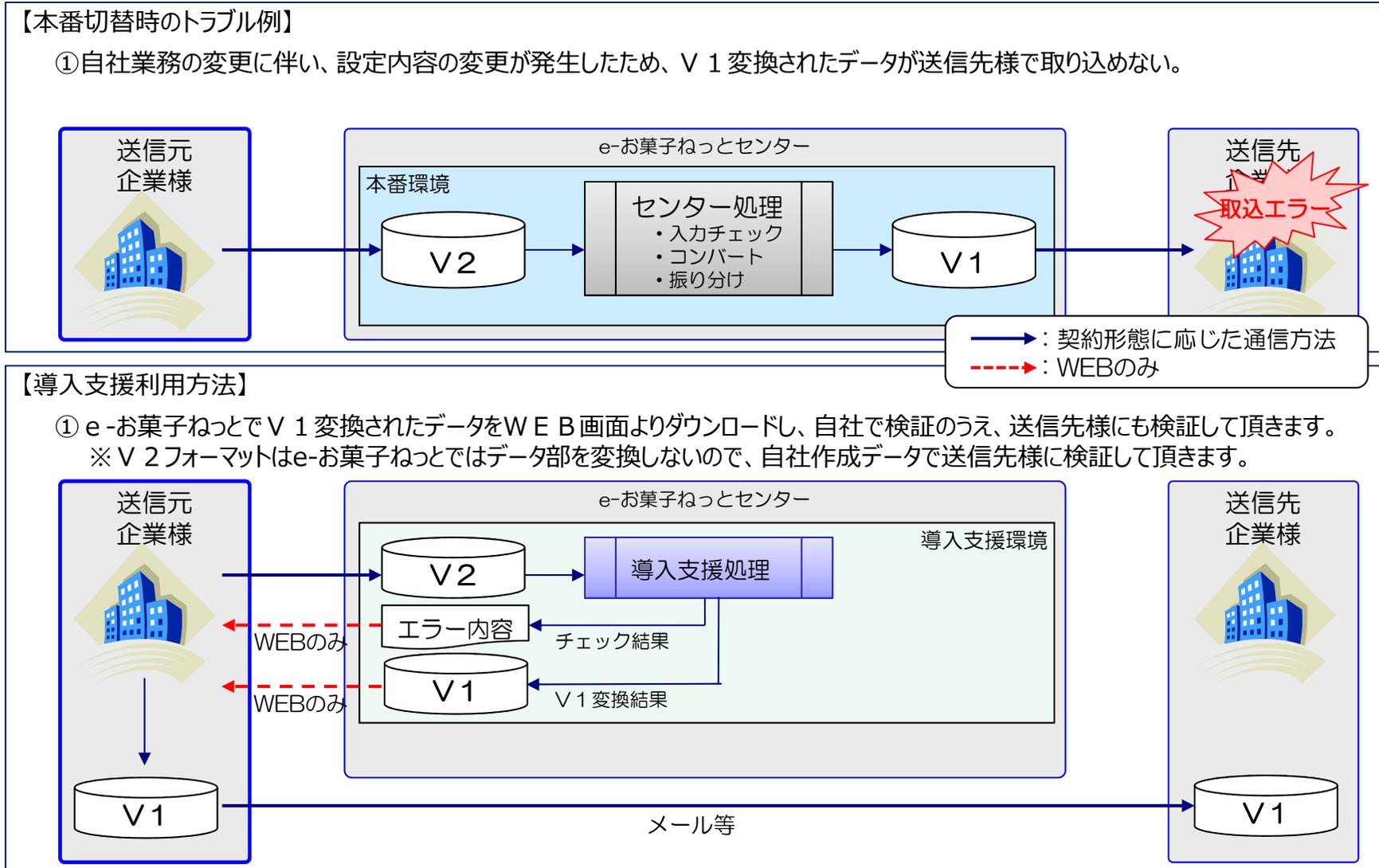
2. 導入支援機能の利用方法

2.1 自社が送信データのV2フォーマットを採用するための準備作業

- (1) 自社作成のV2フォーマットデータが、e-お菓子ねっとで正しく取り込まれることを事前検証します。
- (2) 自社作成のV2フォーマットデータが、既存のV1送信先様向けに従来のフォーマットと一致することを検証します。

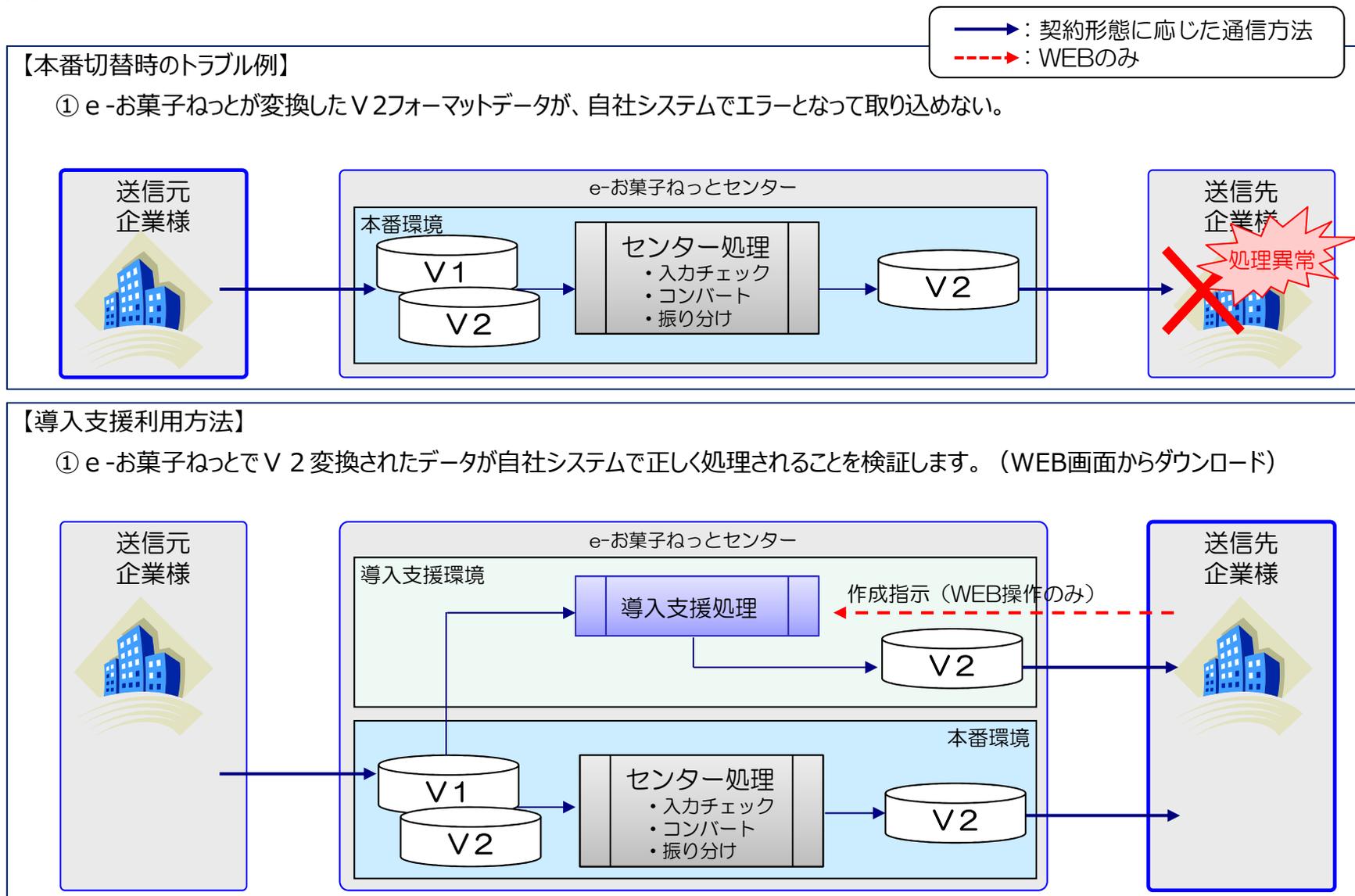


- (3) 自社作成のV2フォーマットデータが、既存のV1送信先様で取込み可能なことを事前検証します。
 ※ V2対応に際し、自社業務要件により、従来のV1と異なる設定内容の場合には、送信先様と相対によるデータ確認を実施してください。



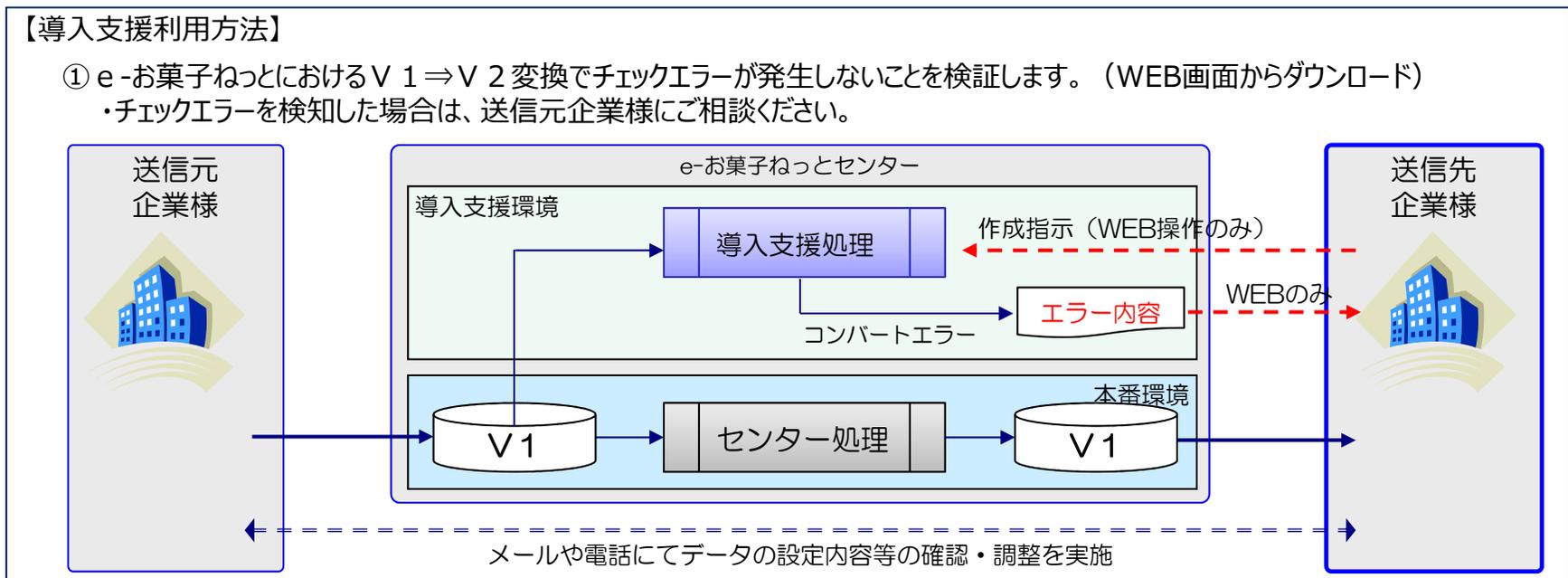
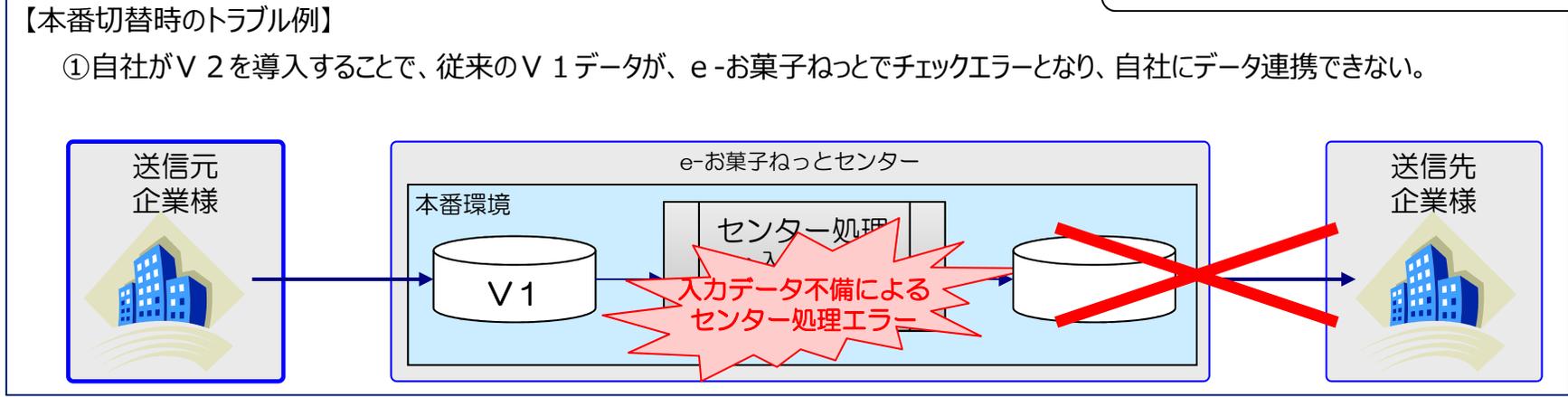
2.2 自社が受信データのV2フォーマットを採用するため準備作業

(1)e-お菓子ねっとから受信するV2フォーマットデータが、自社システムで正しく取り込まれることを事前検証します。



(2)自社がV 2を導入することで、従来の送信元からのデータが e-お菓子ねっとでエラーにならないことを事前検証します。

—▶ : 契約形態に応じた通信方法
 - - -▶ : WEBのみ



2.4 利用申請

(1)利用申請

①「e-お菓子ねっと」接続申込書にて申請

- ・V2フォーマットへの切替時には、接続申込書が必要となります。
- ・切替申請と同時に導入支援機能の利用申請をお願い致します。

(2)利用料金

①導入支援機能のご利用に費用負担はありません。【無料】

(3)その他

①本機能の利用には、WEB2008画面へのログインが必須となります。

3. テスト用の取引先コードを利用したテストの概要

◆導入支援機能が存在しないデータ種のテスト方法は、「テスト用の取引先コード」での実施となります。

- ①ご利用企業様からお申込みがあった場合、e-お菓子ねっとセンターより、テスト用の取引先コードを連絡します。
ご利用企業様は、テストコードに対応するテスト環境を設定のうえ、テストを実施して頂きます。
- ②“テスト用の取引先コード”の有効期限が切れた場合、ご利用できなくなります。
テスト完了後は“本番用の取引先コード”をご利用ください。
- ③当テストは、V2フォーマット導入前に送信元⇔送信先間で事前検証することで、V2フォーマット導入後のトラブル※を未然に防止し、スムーズな切替を行うためのテストです。
※導入後に想定されるトラブル
・V2フォーマットで送信 → データチェックエラー → データ未達！
・V2フォーマットで受信 → 自社システム取込エラー！ 等
- ④V2フォーマット導入の際には、必ず、相対企業様間で動作確認をお願い致します。

3.1 対象データ種

(1)テスト用の取引先コードでテスト可能なデータ種は、以下の通りです。

- ・在庫予定 (13)
- ・受領 (14)
- ・返品通知 (18)
- ・請求 (35)
- ・支払 (36)

※本機能は、テスト環境のみでデータ交換を実施する機能です。

本番環境への誤送信防止のため、誤った送信先コードを設定した場合にも、e-お菓子ねっとがエラー制御します。

4. テスト用の取引先コードを利用したテストの利用方法

4.1 利用方法

(1) V1→V2フォーマットへの切替前に、自社で作成したV2フォーマットデータを検証したい

(2)テスト手順

《送信元企業様》

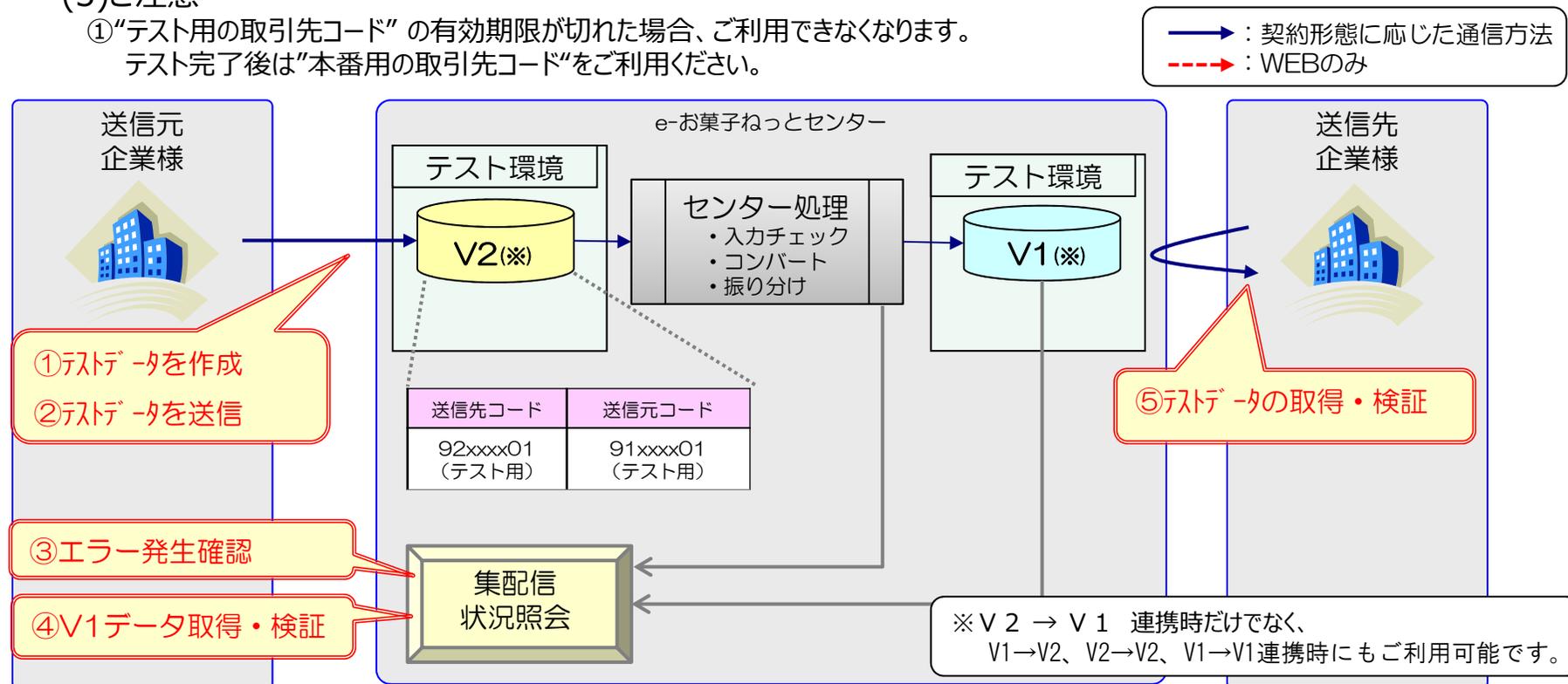
- ①テストデータの作成（“テスト用の取引先コード”を「送信先コード」と「送信元コード」に設定）
- ②テストデータの送信
- ③集配信状況照会機能にて、センター処理結果（チェックエラーが無いこと）を確認
- ④センター処理後のV1フォーマットデータをダウンロードし、データを検証

《送信先企業様》

- ⑤送信元企業様より連絡（テストデータ受信依頼）を契機に、テストデータの受信・検証

(3)ご注意

- ①“テスト用の取引先コード”の有効期限が切れた場合、ご利用できなくなります。テスト完了後は“本番用の取引先コード”をご利用ください。



4.2 利用申請

(1)利用申請

①「e-お菓子ねっと」接続申込書にて申請

- ・V2フォーマットへの切替時には、接続申込書が必要となります。
- ・切替申請と同時に「テスト用取引先コード」の利用申請をお願い致します（準備中）。
- ・ご利用企業様と相対企業様（送信元／送信先）のセットでお申込みいただきます。

(2)利用料金

①導入支援機能のご利用に費用負担はありません。【無料】

(3)その他

- #### ①送信元企業様が、送信先企業様からデータを受信する場合、 送信先企業様も、テスト用取引先コード（テスト環境）へアクセスする環境を作成していただく必要があります。

IV. 障害通知機能

1. 障害通知メールの利用促進
2. 障害通知メールのセキュリティ向上

1. 障害通知メールの利用促進

◆e-お菓子ねっとでは、品質向上に向けた取り組みとして、
2016年7月より障害時の連絡用に障害通知メール機能を提供しました。

(1)障害通知メール

- ①e-お菓子ねっとシステムの障害発生時に、ご利用企業様へ障害が発生した旨をメールにて通知する機能です。
- ②ご利用企業様の業務影響を最小限にするために、障害が発生している旨をいち早く連絡します。
また、対応状況を定期的に発信（HPを更新）します。

(2)登録状況（2016年10月26日 現在）

- ①約半数のご利用企業様に障害通知メールをご登録頂きました。
⇒できるだけ当該機能の登録をお願い致します。

| | 利用企業数 | 登録社数（登録率） |
|---------|-------|---------------|
| 登録数（社数） | 576社 | 265社 (46%) |

(3)ご利用企業様への依頼事項

①障害通知メールへの登録依頼

- ・障害通知メールへの登録が未実施のご利用企業様においては、以下メールアドレスへ「空メール」を送信し、受信したメールの案内に従ってご登録をお願いします。

【空メールの送信先】

2016年11月15日まで : t-fip2@sg-m.jp
2016年11月16日から : eokashi_touroku@sg-m.jp

②登録対象者

- ・障害発生をいち早く検知する必要のある方、FAX発注等の代替手段の業務対応ができる方 等のご登録をお願いいたします。

★<メーリングリストを登録する際の注意点>

障害通知メールへメーリングリストを登録する場合は、メーリングリストの登録メンバーの方に利用ドメインの情報等の事前通知をお願い致します。

- ・e-お菓子ねっとの障害発生時にメールが届くこと
- ・e-お菓子ねっとの障害対応訓練時にテストメールが届くこと（2回/年）

③ドメインの受信許可

- ・障害通知メールで利用するドメイン（「sg-m.jp」および「eokashi.net」）が受信できる設定となっている事をご確認ください。

※ 詳細はHP掲載の資料、または FAXの登録案内文書（11月1日発信）をご参照ください。

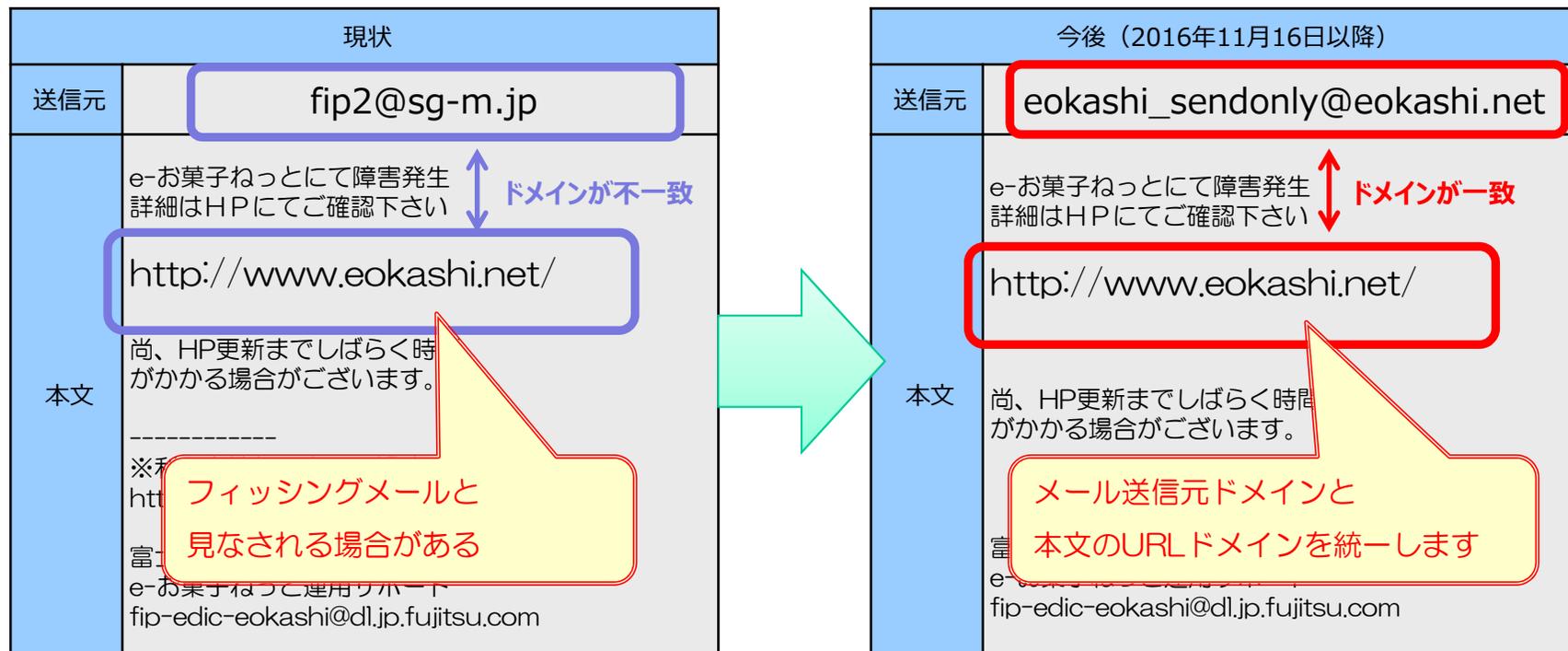
2. 障害通知メールのセキュリティ向上

(1) メール送信元ドメインの変更

セキュリティ向上を目的に、障害訓練日(2016年11月16日)に「メール送信元のドメイン」を変更し、テストメールを送信します。以下2点のご確認をお願いいたします。

【ご確認依頼】

- ① 2016年11月16日に配信されるテストメールが受信できる事
- ② eokashi.netドメインが受信可能な設定となっている事



※ 詳細はHP掲載の資料、または FAXの登録案内文書(11月1日発信)をご参照ください。

V. 稼働状況報告

1. e-お菓子ねっと全体の稼働状況
2. V2フォーマットの導入状況

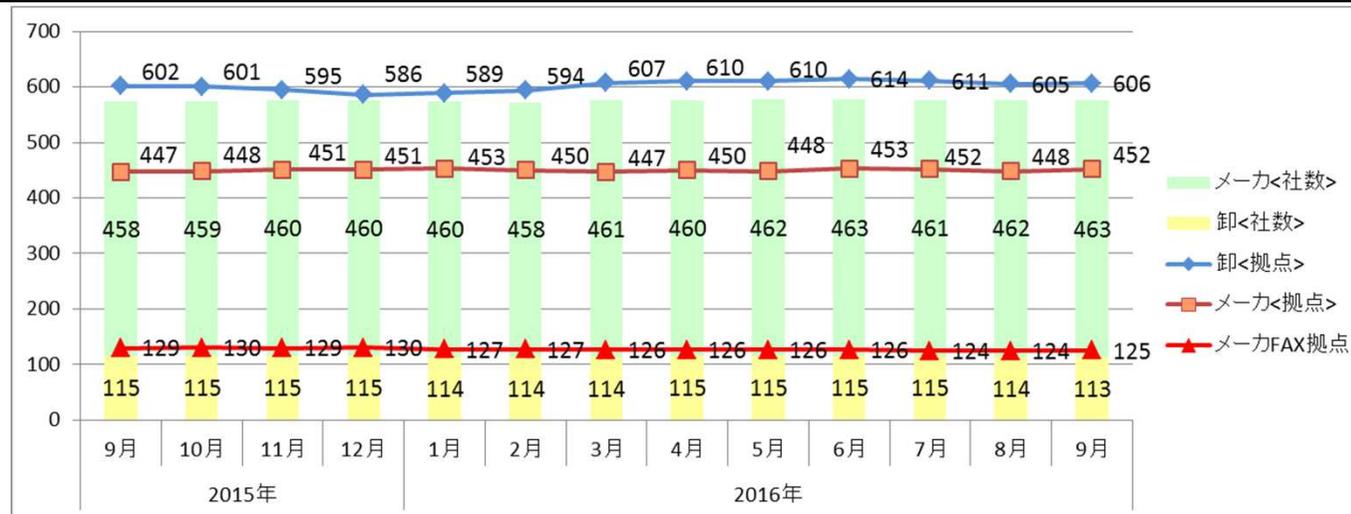
1. e-お菓子ねっと全体の稼働状況

(平成28年9月20日現在) e-お菓子ねっと

(1) 接続拠点数、社数の推移

卸、メーカーともに拠点総数は、微小ながら増加しております。

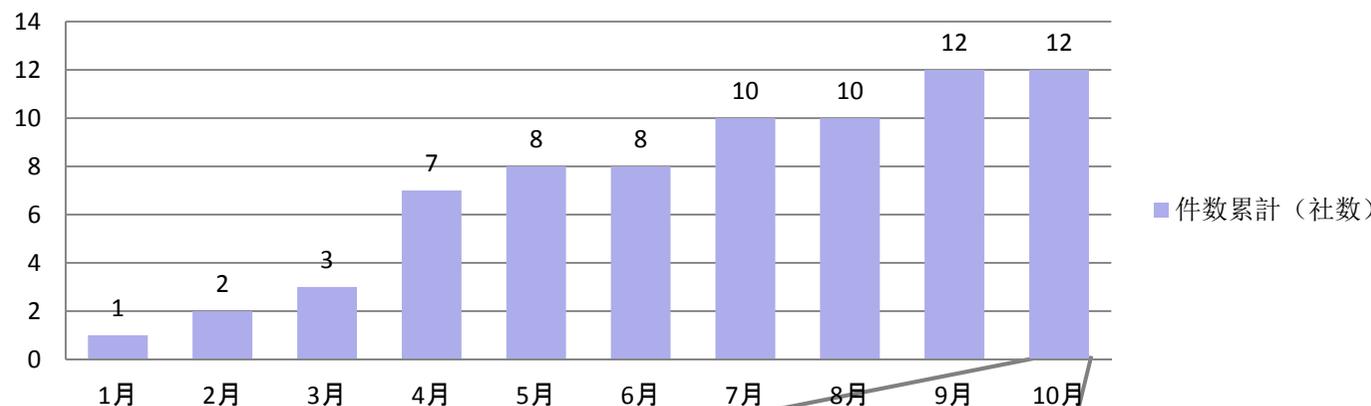
| | 2015年 | | | | 2016年 | | | | | | | | |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 卸 <拠点> | 602 | 601 | 595 | 586 | 589 | 594 | 607 | 610 | 610 | 614 | 611 | 605 | 606 |
| メーカー <拠点> | 447 | 448 | 451 | 451 | 453 | 450 | 447 | 450 | 448 | 453 | 452 | 448 | 452 |
| メーカー FAX拠点 | 129 | 130 | 129 | 130 | 127 | 127 | 126 | 126 | 126 | 126 | 124 | 124 | 125 |
| 卸 <社数> | 115 | 115 | 115 | 115 | 114 | 114 | 114 | 115 | 115 | 115 | 115 | 114 | 113 |
| メーカー <社数> | 458 | 459 | 460 | 460 | 460 | 458 | 461 | 460 | 462 | 463 | 461 | 462 | 463 |
| 拠点総数 | 1,178 | 1,179 | 1,175 | 1,167 | 1,169 | 1,171 | 1,180 | 1,186 | 1,184 | 1,193 | 1,187 | 1,177 | 1,183 |
| 企業総数 | 573 | 574 | 575 | 575 | 574 | 572 | 575 | 575 | 577 | 578 | 576 | 576 | 576 |



2. V2フォーマットの導入状況

2015年10月にリリースしたV2フォーマットは、12社が導入しています。（2016年10月時点）
 V2フォーマットは日本語項目対応等、V1フォーマットへの改善要望へ対応しています。
 加入企業様におけるシステム改修等の際には、V2レイアウト導入のご検討をお願い致します。

＜V2導入企業数の遷移＞(2016年)



《導入社数》

| | 社数 | 合計 |
|------|----|----|
| 卸売業 | 1 | 12 |
| メーカー | 11 | |

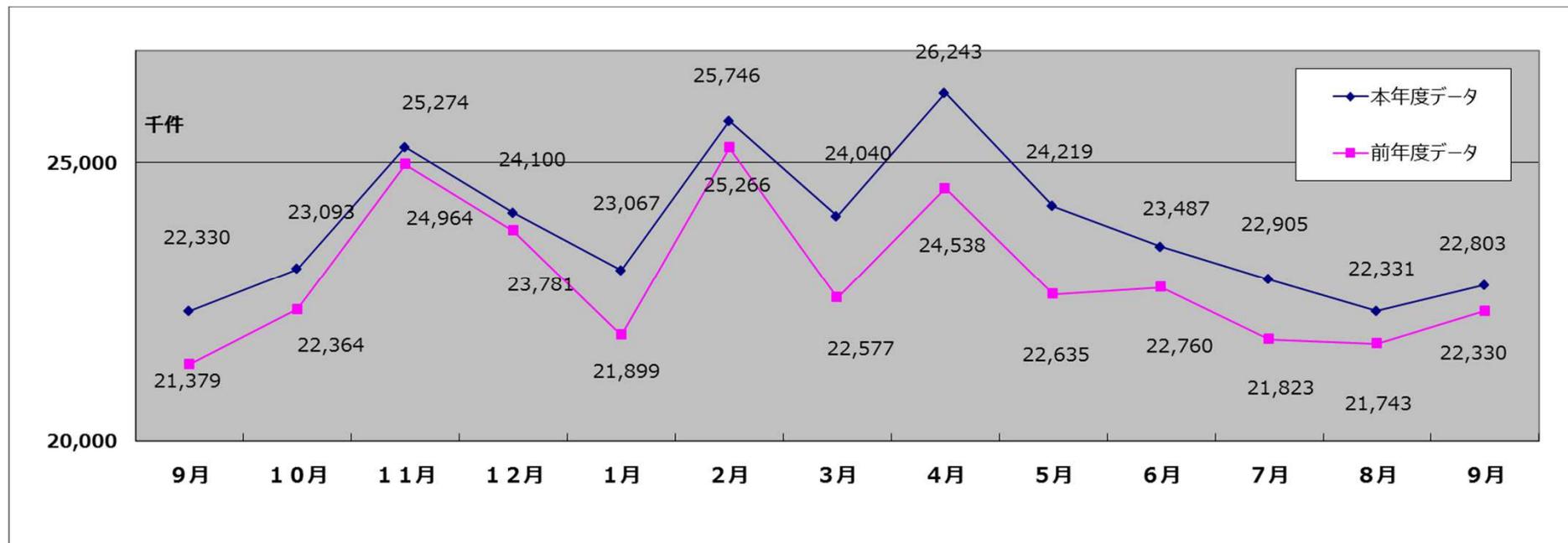
《導入企業における新規加入／既存切替えの内訳》

| | 新規 | 切替 | 小計 |
|------|----|----|----|
| 卸売業 | 0 | 1 | 3 |
| メーカー | 4 | 7 | 9 |

《プロトコル別 導入企業の内訳》

| | ebXML | J X | WEB2008 | 小計 |
|------|-------|-----|---------|----|
| 卸売業 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| メーカー | 0 | 2 | 9 | 11 |

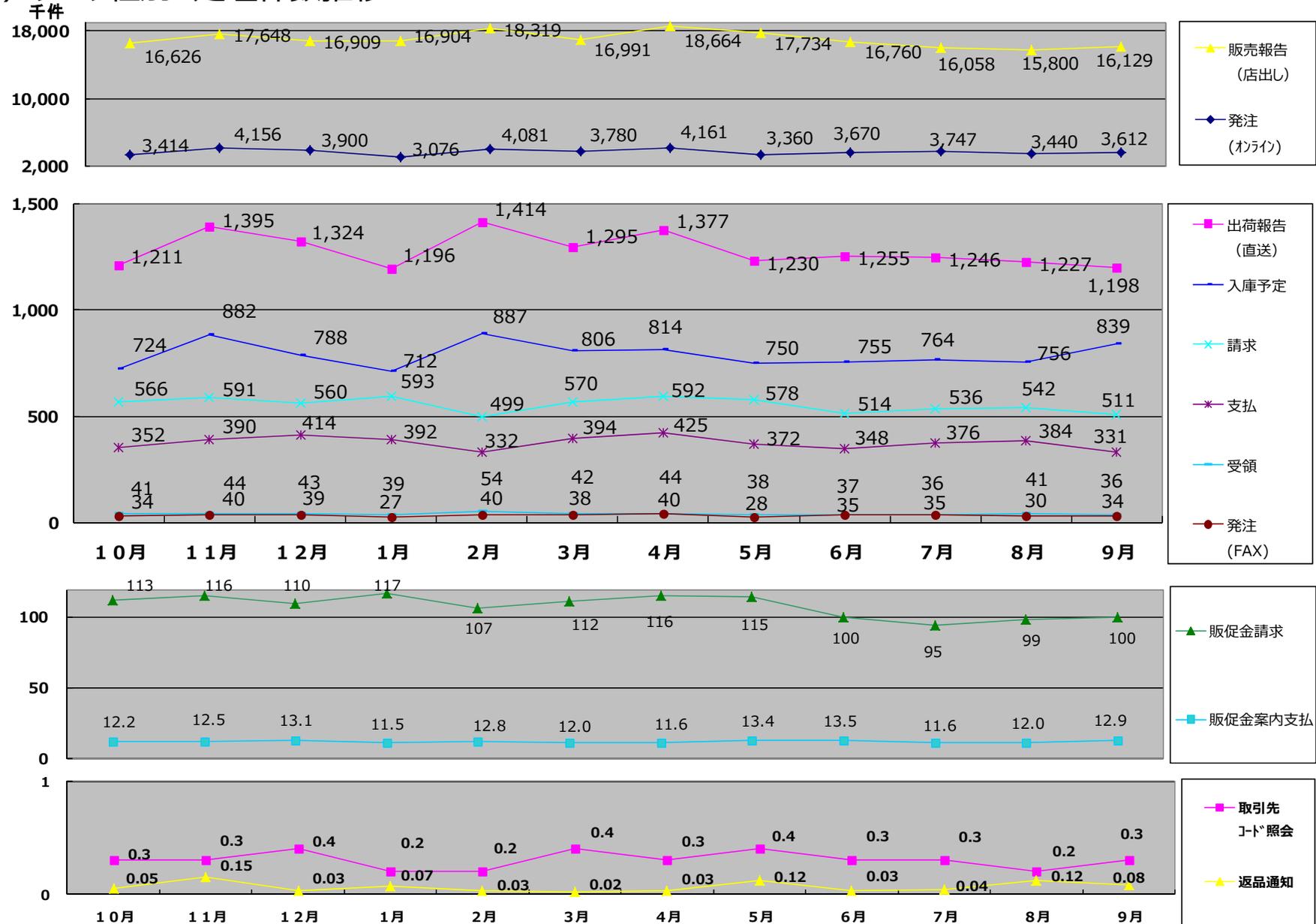
(2) 総処理件数推移 (前年同月比)



| 前年対比 | 2015 | | | | 2016 | | | | | | | | | (単位:千件) |
|-----------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|
| | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| 本年度データ | 22,330 | 23,093 | 25,274 | 24,100 | 23,067 | 25,746 | 24,040 | 26,243 | 24,219 | 23,487 | 22,905 | 22,331 | 22,803 | |
| 前年度データ | 21,379 | 22,364 | 24,964 | 23,781 | 21,899 | 25,266 | 22,577 | 24,538 | 22,635 | 22,760 | 21,823 | 21,743 | 22,330 | |
| 前年対比増加データ | 950.7 | 729.8 | 310.3 | 318.9 | 1,167.8 | 479.2 | 1,462.6 | 1,705.5 | 1,583.5 | 726.9 | 1,081.9 | 588.8 | 472.9 | |
| 増加率 | 104% | 103% | 101% | 101% | 105% | 102% | 106% | 107% | 107% | 103% | 105% | 103% | 102% | |

(3) データ種別 処理件数推移

発注、出荷報告、販売報告データで全体の9割を占めております。

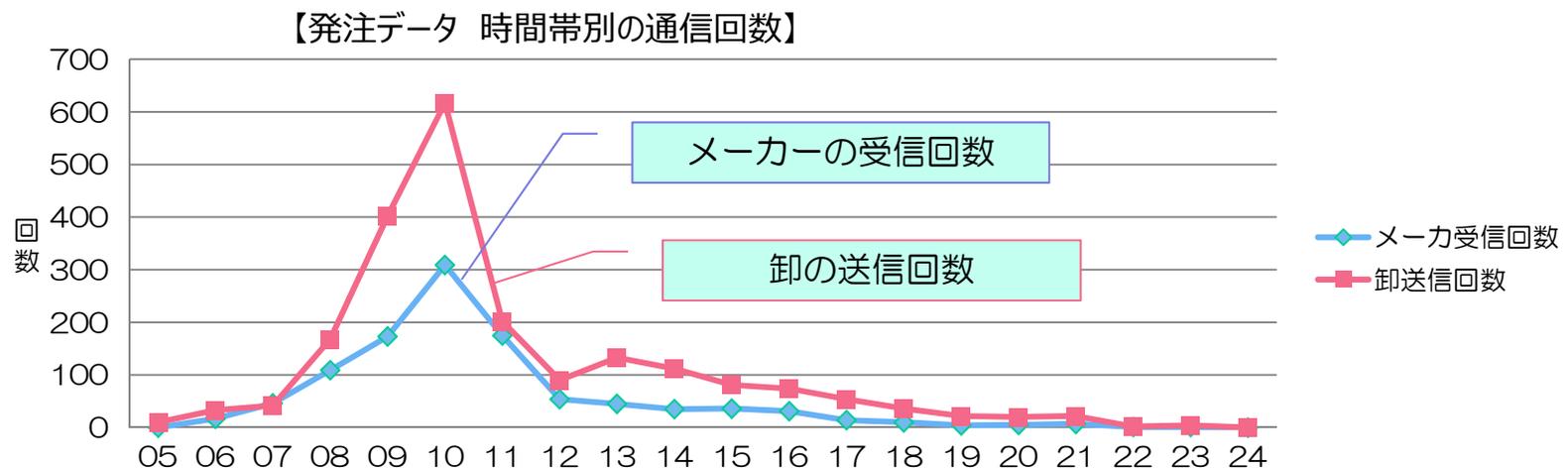
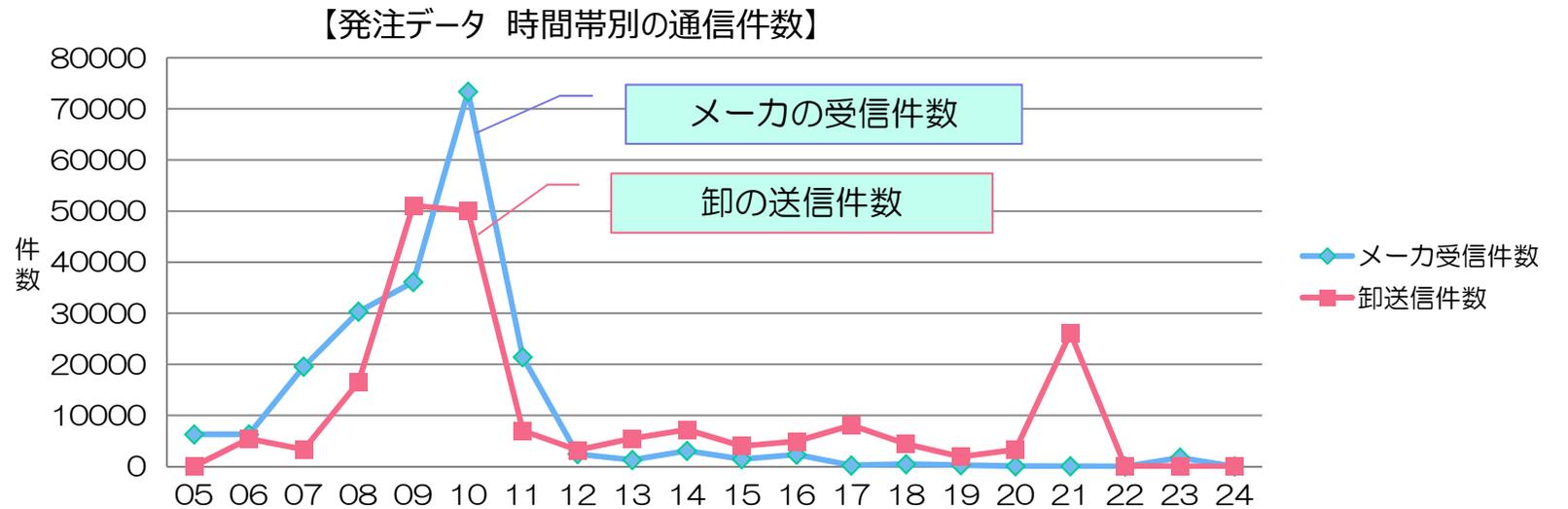


(単位:千件)

| データ処理件数 | 2015 | | | 2016 | | | | | | | | | 累計 |
|--------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| 発注データ (オンライン) (前年同月比) | 3,414 (98%) | 4,156 (101%) | 3,900 (98%) | 3,076 (109%) | 4,081 (99%) | 3,780 (104%) | 4,161 (107%) | 3,360 (102%) | 3,670 (98%) | 3,747 (102%) | 3,440 (99%) | 3,612 (97%) | 21,990 (101%) |
| 出荷報告データ (直送) (前年同月比) | 1,211 (95%) | 1,395 (100%) | 1,324 (98%) | 1,196 (107%) | 1,414 (101%) | 1,295 (103%) | 1,377 (103%) | 1,230 (102%) | 1,255 (96%) | 1,246 (101%) | 1,227 (101%) | 1,198 (92%) | 7,533 (99%) |
| 販売報告データ (店出し) (前年同月比) | 16,626 (106%) | 17,648 (101%) | 16,909 (103%) | 16,904 (105%) | 18,319 (103%) | 16,991 (108%) | 18,664 (108%) | 17,734 (109%) | 16,760 (106%) | 16,058 (107%) | 15,800 (104%) | 16,129 (105%) | 101,144 (106%) |
| 請求データ (前年同月比) | 566 (99%) | 591 (99%) | 560 (100%) | 593 (99%) | 499 (95%) | 570 (97%) | 592 (99%) | 578 (96%) | 514 (97%) | 536 (95%) | 542 (95%) | 511 (99%) | 3,273 (97%) |
| 支払データ (前年同月比) | 352 (101%) | 390 (102%) | 414 (116%) | 392 (105%) | 332 (103%) | 394 (109%) | 425 (120%) | 372 (98%) | 348 (100%) | 376 (100%) | 384 (108%) | 331 (91%) | 2,235 (103%) |
| 発注データ (FAX) (前年同月比) | 34 (93%) | 40 (92%) | 39 (93%) | 27 (102%) | 40 (92%) | 38 (97%) | 44 (101%) | 28 (90%) | 35 (92%) | 36 (92%) | 30 (87%) | 34 (92%) | 207 (93%) |
| 取引先コード照会 (前年同月比) | 0.3 (100%) | 0.3 (75%) | 0.4 (100%) | 0.2 (67%) | 0.2 (22%) | 0.4 (57%) | 0.3 (50%) | 0.4 (100%) | 0.3 (38%) | 0.3 (150%) | 0.2 (50%) | 0.3 (100%) | 1.8 (67%) |
| 在庫予定データ (前年同月比) | 724 (93%) | 882 (100%) | 788 (90%) | 712 (101%) | 887 (95%) | 806 (99%) | 814 (98%) | 750 (98%) | 755 (92%) | 764 (96%) | 756 (96%) | 839 (99%) | 4,677 (97%) |
| 受領データ (前年同月比) | 41 (75%) | 44 (75%) | 43 (75%) | 39 (81%) | 54 (96%) | 42 (83%) | 40 (84%) | 38 (85%) | 37 (81%) | 35 (82%) | 41 (89%) | 36 (79%) | 227 (83%) |
| 返品通知データ (前年同月比) | 0.05 (63%) | 0.15 (167%) | 0.03 (100%) | 0.07 (233%) | 0.03 (100%) | 0.02 (50%) | 0.03 (25%) | 0.12 (1,200%) | 0.03 (60%) | 0.04 (57%) | 0.12 (400%) | 0.08 (100%) | 0.41 (111%) |
| 販促金案内支払データ (前年同月比) | 12.2 (103%) | 12.5 (95%) | 13.1 (96%) | 11.5 (95%) | 12.8 (96%) | 12.0 (93%) | 11.6 (94%) | 13.4 (97%) | 13.5 (102%) | 11.6 (53%) | 12.0 (95%) | 12.9 (95%) | 74.9 (86%) |
| 販促金請求データ (前年同月比) | 112.8 (164%) | 116 (163%) | 110 (168%) | 117 (172%) | 107 (155%) | 112 (158%) | 116 (156%) | 115 (166%) | 100 (157%) | 95 (159%) | 99 (150%) | 100 (105%) | 625 (146%) |
| 合計 | 23,093.4 | 25,274.1 | 24,100.2 | 23,066.7 | 25,745.5 | 24,039.8 | 26,243.0 | 24,218.8 | 23,487.0 | 22,904.6 | 22,331.3 | 22,802.7 | 141,987.6 |
| 累計 (前年同月比) | 158,921 (104%) | 184,195 (104%) | 208,296 (103%) | 231,362 (104%) | 257,108 (103%) | 281,148 (104%) | 26,243 (107%) | 50,462 (107%) | 73,949 (106%) | 96,854 (106%) | 119,185 (105%) | 141,988 (105%) | 141,988 (105%) |

(4) 新システムにおける通信実績 (2016.9.12)

※通信可能な時間帯を延長しましたので、システム改修等の際には、運用スケジュールの見直しをご検討下さい。



新システムでは、通信可能な時間帯を延長しております。

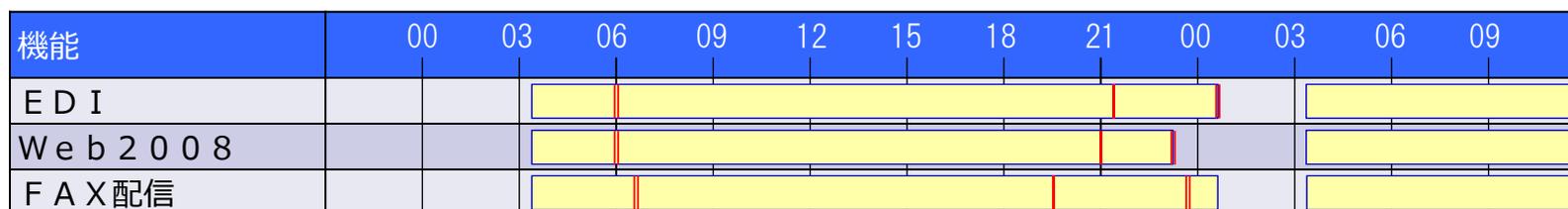
<新システム>

| 機能 | 月～土曜日 | 日曜 | 保守日 | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|
| | | | サービス停止なし | サービス停止あり |
| E D I | 03:30 - 24:30 | 03:30 - 24:30 | 03:30 - 24:30 | - 24:00 / 06:00 - |
| W e b 2 0 0 8 | 03:30 - 23:00 | 03:30 - 23:00 | 03:30 - 23:00 | - 23:00 / 06:00 - |
| F A X 配信 | 03:30 - 24:30 | 03:30 - 24:30 | 03:30 - 24:30 | - 24:00 / 06:00 - |

年 1 回のサービス停止を伴う保守日については、翌日のサービス開始が06:00となります。

<旧システム>

| 機能 | 月～土曜日 | 日曜 | 保守日 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| E D I | 06:00 - 24:30 | 06:00 - 21:30 | 06:00 - 21:30 |
| W e b 2 0 0 8 | 06:00 - 23:00 | 06:00 - 21:00 | 06:00 - 21:00 |
| F A X 配信 | 07:00 - 23:30 | 07:00 - 19:30 | 07:00 - 19:30 |



新システムのサービス時間帯
|| 旧システムの月～土曜
| 旧システムの日曜日

【更新履歴】

第1.0版 2016.11.09
実務者研修会発表資料

第1.1版 2016.11.14

- ・項番「Ⅱ. 2. V2フォーマット導入状況」、項番「Ⅴ. 2. V2フォーマットの導入状況」
卸売業のV2導入社数の誤りを修正 卸売業：2社→1社、全体企業数：13社→12社



e-お薬子ねっと